© 創通・サンライズ

RG 1/144
EXCITEMENT EMBODIED

02 MS-06S ZAKU II

PRINCIPALITY OF ZEON CHAR AZNABLE'S CUSTOM MOBILE SUIT

リアルグレード 1/144 スケールモデル シャア専用ザク

Real Grade is a new brand which, as its name indicates, aimed to be "the real thing".
We want to tell all generations who know Gundam of the pleasure and excitement of making a mobile suit.
Please be sure to enjoy the numerous gimmicks incorporated in this palm-size 1/144 scale model.

BANDAI 2010 MADE IN JAPAN

※写真・イラストと商品とは多少異なりますのでご了承ください。

0165511

BANDAI

RG 1/144 EXCITEMENT EMBODIED

本物であることを追求した新ブランド「リアルグレード」

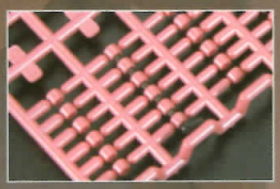
「リアルグレード」は、その名のとおり「本物」であることを追求した新ブランドです。精密なディテールを豊富なカラーパーツと共に再現し、込められる限りの可動領域を、切り取るだけの組み立て済みインナーフレームへ搭載しました。モビルスーツを作る楽しみと興奮を、ガンダムを知る全ての世代へ。1/144スケールの手のひらサイズに込めた、数々のギミックをご堪能ください。

REAL SYSTEM －リアルシステムとは－

モビルスーツの「リアル」を実体験するために生み出された表現技法です。
- ●全設定再現：モビルスーツの機能設定を1/144サイズに集約しています。
- ●組み立て済みジョイントフレーム：最小限の部品数で、最大限の可動を実現しています。
- ●リアルな質感表現デカール：メカとしての質感を金属表現シールで再現しました。

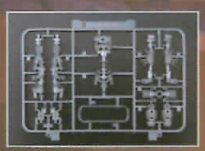
PIPE INSERT

ザクのデザイン性を際立たせる、特徴的な機体各部のパイプパーツには、軸を通してパーツを取り外す方式を採用しました。細かなパイプパーツを簡単に組み立てることができます。またゲートには「タッチゲート」方式を採用。パーツが手で簡単に取り外せて、ゲート跡が目立たない美しい仕上がりを楽しめます。



ADVANCED MS JOINT

多重インサート成型という特殊技術によって完成した、「アドヴァンストMSジョイント」。切り取るだけという手軽さでありながら、肘・膝が大きく動く2重関節機構が盛り込まれています。シャア専用ザクの劇中の動きをそのままトレースすることも可能な、リアルグレード専用の内部フレームです。



REALISTIC DECAL

塗装では容易に再現できない「金属の輝き」をシール上で再現することに成功しました。各部のモールドや手足の各関節部に貼ることでメカニカルな質感を簡単に得ることができます。金属色は2種類を再現しました。

ACTION & COLOR SPLIT PARTS

「シャア専用ザク」の見せる驚異的な動きを再現するために、アドヴァンストMSジョイントを設計。
その可動性能を制約しないように、外装パーツを効率的に装着させています。
また外装パーツには、合計8色の成形色を使用。機体のリアルな質感とともに、
腹部装甲の可動等のこだわりがもたらす、過去に類を見ないアクションポーズをお楽しみください。

COLOR CHART

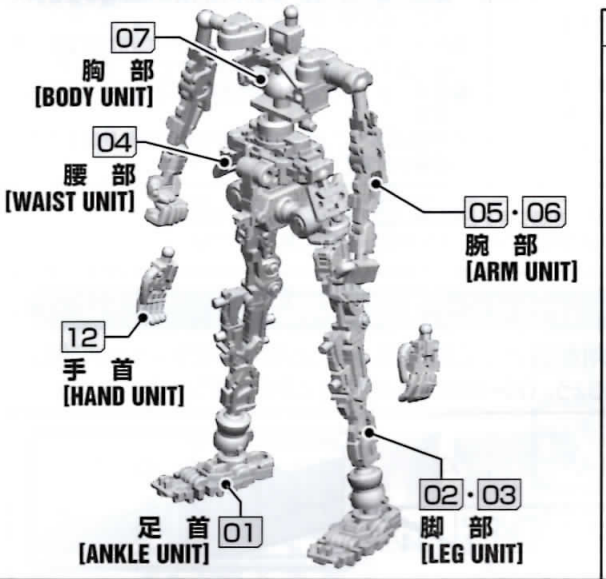
※塗装を楽しみたい方は、下の基本色をご覧ください。※塗装には、より安全な「水性塗料」の使用をおすすめします。
※ABS樹脂部分への塗装は破損する恐れがありますので、塗装はおすすめできません。※カラー配合は参考値であり、写真とカラーガイドの色は異なる場合があります。

- 腕・足等ピンク部の塗装色。ホワイト(50%)+レッド(25%)+イエロー(20%)+ニュートラルグレー(5%)
- 左肩上部等ピンク部の塗装色。ホワイト(75%)+レッド(15%)+イエロー(10%)+ニュートラルグレー(少量)
- フロントアーマー上部等ピンク部の塗装色。ホワイト(90%)+モンザレッド(10%)+パープル(少量)+ブラック(少量)
- 胴体レッド部の塗装色。レッド(65%)+ホワイト(30%)+ブルー(5%)
- ランドセルレッド部の塗装色。モンザレッド(100%)
- 関節等グレー部の塗装色。ニュートラルグレー(80%)+ブラック(20%)
- 武器等ダークグレー部の塗装色。ミッドナイトブルー(90%)+ホワイト(10%)

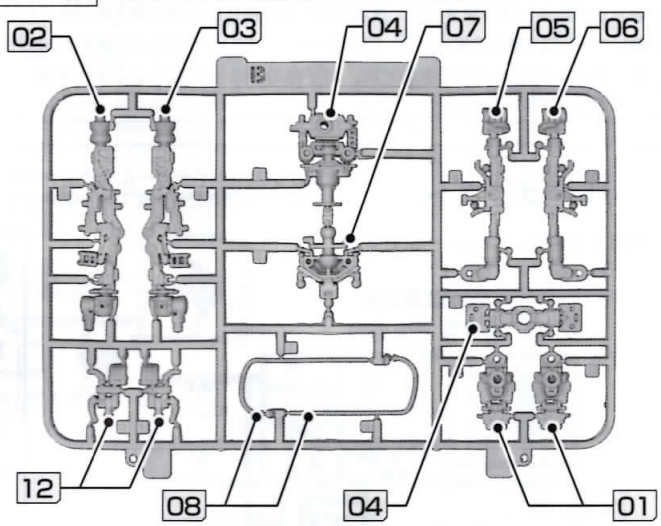
- ヘルメット等ホワイト部の塗装色。ホワイト(100%)
- マスク等ブルーグレー部の塗装色。エアクラフトグレー(70%)+ミディアムブルー(30%)
- 顔肌色部の塗装色。はだ色(100%)
- 肩装飾等イエロー部の塗装色。オレンジイエロー(100%)
- 脇等レッド部の塗装色。モンザレッド(100%)
- マント等ブラック部の塗装色。ミッドナイトブルー(100%)

組み立て前の基本説明

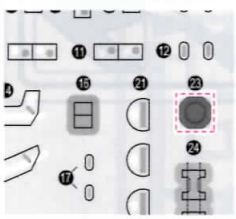
アドヴァンスドMSジョイント2（Bパーツ）のフレーム構成は、図のようになります



Bパーツ　※表示の番号は、組み立てブロックの番号です。

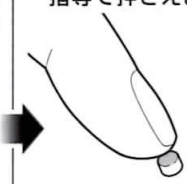


リアリスティックデカールの貼りかた



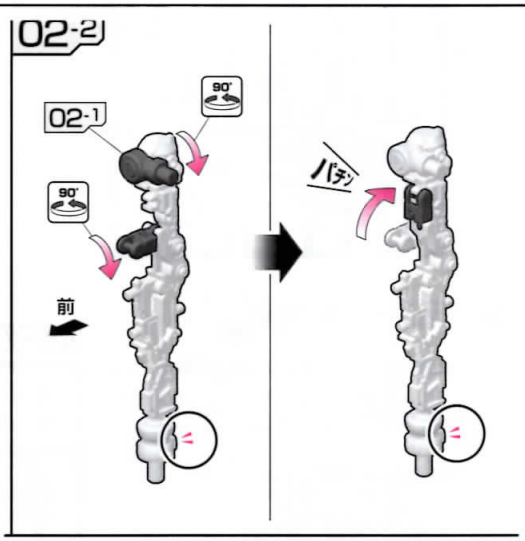
❶ピンセット等でつまみ、形を合わせてリアリスティックデカールを貼ります。

❷浮いている部分は指等で押さえます。



部品の向きに注意してください

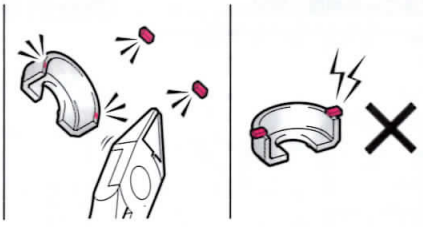
※組み立て図中に〱のついている部品は、形状や向きに注意して組み立ててください。



アンダーゲートの切り取りかた

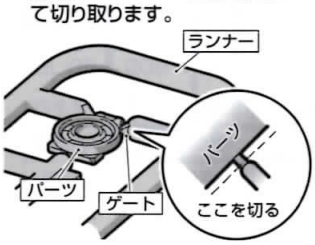
▶ **アンダーゲート** マークの付いた部品は、下の図のようにキレイに切り取ります。

※説明書で **アンダーゲート** と表記されているパーツには裏側等にゲートがあります。▶の印が付いている部分は忘れないようにきれいに切り取ってください。



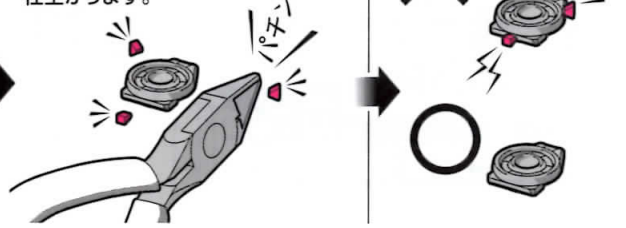
パーツの切り取りかた

❶まず、パーツから少し離れた位置にニッパーの刃を入れて切り取ります。



❷パーツを切り離して持ちやすくなったところでゲート跡の処理に入ります。

❸ニッパーの刃をパーツに密着させてゲートを切り取れば、きれいに仕上がります。



⚠ 注　意

必ずお読みください

- この商品の対象年齢は15才以上です。〈鋭い部品がありますので、安全上15才未満には適しません。〉
- 小さな部品があります。口の中には絶対に入れないでください。窒息などの危険があります。
- 誤飲の危険がありますので、3才未満のお子様には絶対に与えないでください。
- ビニール袋を頭から被ったり、顔を覆ったりしないでください。窒息する恐れがあります。
- 小さなお子様のいるご家庭では、お子様の手の届かないところへ保管し、お子様には絶対に与えないでください。

〈組み立てる時の注意〉

- 組み立てる前に説明書をよく読みましょう。
- 部品は番号を確かめ、ニッパーなどできれいに切り取りましょう。切り取った後のクズは捨ててください。
- 部品の加工の際の刃物、工具、塗料、接着剤などのご使用にあたっては、それぞれの取扱説明書をよく読んで正しく使用してください。
- 部品の中には、やむをえず、とがった所があるものもありますが、気をつけて組み立ててください。
- 塗装にはより安全な「水性塗料」のご使用をおすすめします。

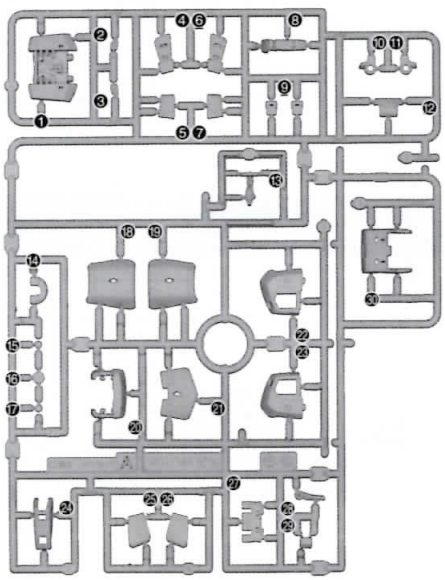
※ABS部分への塗装は破損する恐れがありますので、塗装はおすすめできません。

パーツリスト

※細かいパーツやデカールは破損や紛失の恐れがあります。取り扱いには十分注意してください。
ピンセット等をご使用になると便利です。（道具類は付属しておりません。別にご用意ください。）

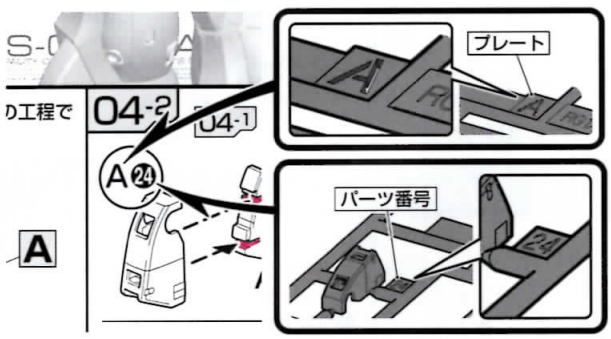
（✕印は使用しないパーツです。）

Aパーツ アンダーゲート有り
（スチロール樹脂：PS）

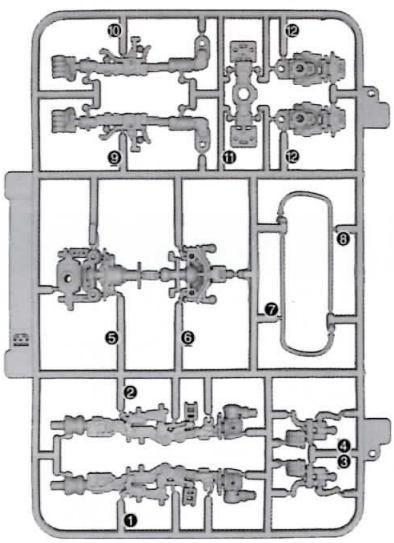


説明書の見かた

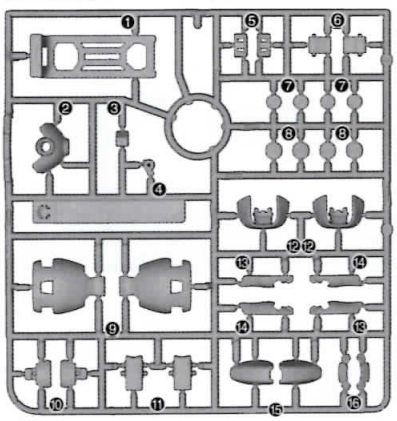
説明書のパーツに書いてある番号と同じものをランナーから探しましょう。（パーツリスト表と合わせて見ると、探しやすいでしょう。）



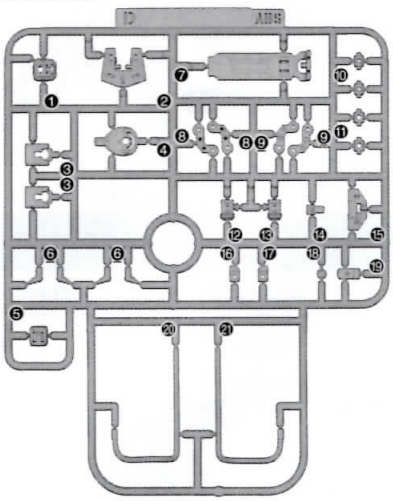
Bパーツ（ABS樹脂：ABS）
（ポリプロピレン：PP）



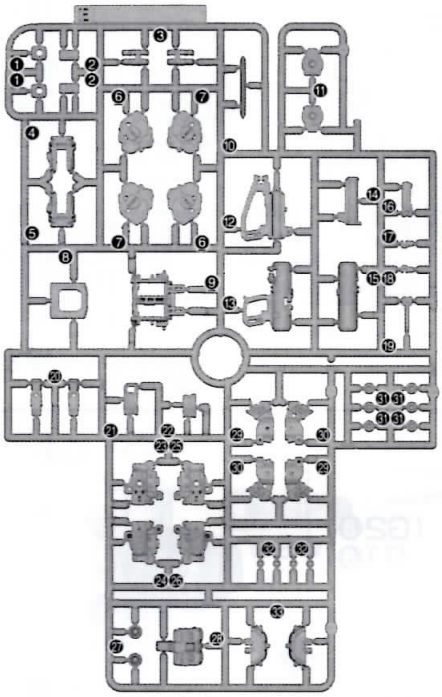
Cパーツ（スチロール樹脂：PS）



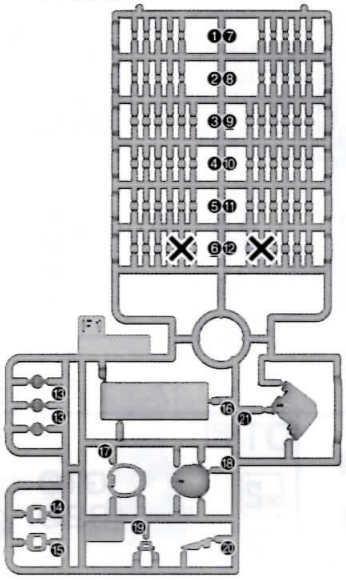
Dパーツ（ABS樹脂：ABS）



Eパーツ（スチロール樹脂：PS）

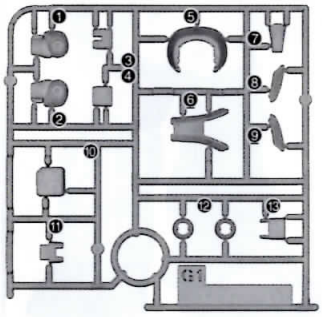


F1パーツ（スチロール樹脂：PS）

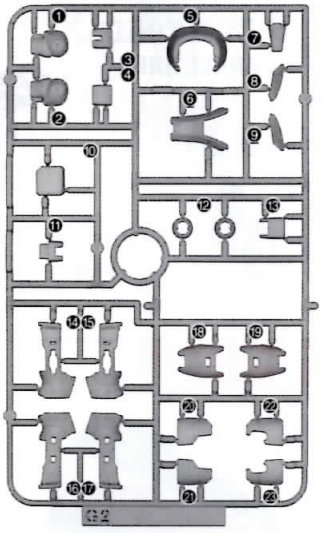


※F⑥・F⑫の各3個は予備です。

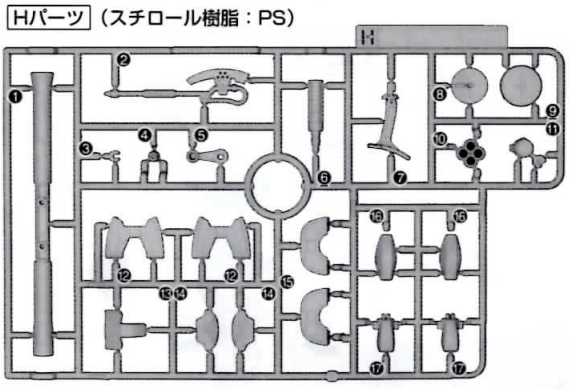
G1パーツ（スチロール樹脂：PS）



G2パーツ（スチロール樹脂：PS）



Hパーツ（スチロール樹脂：PS）



リアリスティックデカール……1枚
スプリング……2本

※クリアパーツの中には、製造工程上気泡が入っているものがありますがご了承ください。

《お買い上げのお客様へ》部品をこわしたり、なくした時は、「部品注文カード」に必要な部品の記号／番号／数量をはっきり書いて切り取り、郵便局で定額小為替をお買い求めいただき、封書（**裏面に必ず、お客様のお名前、年齢、ご住所を明記してください。**）にて下記までお申し込みください。なお、やむをえず部品注文カードをご使用できない場合には発送が遅れる場合がございます。ご了承ください。又、部品注文カードはコピー（拡大含む）での使用も可能です。代金は、料金表通りです。定額小為替は無記入（白紙）で同封してください。なお、部品の形状・重量で郵送料に過不足が生じるときがあります。部品発送の際に表記額を超える時は不足分を請求、表記額未満の時には残額をお返しいたします。また、在庫がない場合には注文をお断りする場合がございます。その際は、お送り頂きました代金（為替）を返送いたします。但し、それ以外に掛かった手数料等は、お客様負担になりますので、ご了承の程、何卒よろしくお願い致します。もし部品に不良品がございましたら、その部品を切り取り、商品名を書いて、下記まで封書にてお送りください。良品と交換させていただきます。ご記入頂きました個人情報につきましては、商品・部品の発送及び情報の提供以外には使用いたしません。部品注文の方法は、HPでもご紹介しております。詳しくはhttp://bandai-hobby.netより▶お客様へ▶相談センターのお知らせ▶「■部品が必要になったらこちらのページをご覧ください。」をご参照ください。

■申し込み先　(株)バンダイ静岡相談センター
〒420-8681 静岡県静岡市葵区長沼500-12
TEL 054-208-7520

・電話受付時間 月～金曜日
（祝日を除く）10時～16時
・電話番号はよく確かめてお間違いのないようにご注意ください。

《料金表》●部品代、送料は切り取った1個の料金です。B・F1❶～⑫パーツはランナー単位での販売です。

部品番号	取扱説明書	Bパーツ	F1❶～⑫	リアリスティックデカール	その他の部品
部品代	150円	700円	400円	350円	各60円
郵送料	200円	140円	120円	80円	120円

FOR USE IN JAPAN ONLY.

部品注文カード　0165511

1/144SCALE RGシリーズ
シャア専用ザク

必要な部品の記号・番号・数量をかく

●注文された理由(○で囲む)（こわした・なくした）

・日中ご連絡可能な電話番号　・年齢
（　　-　　-　　）（　　才）

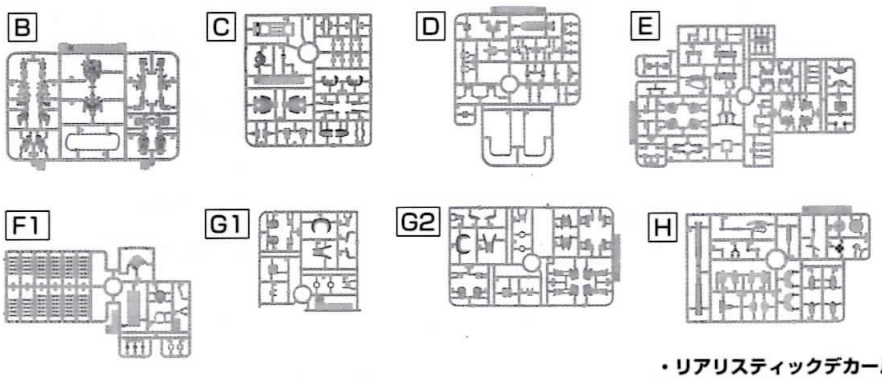
R2111406　'10.11

2010.11/T・ON

※コピー使用可

LEG UNIT

・組立 01・02・03 で使用するパーツ



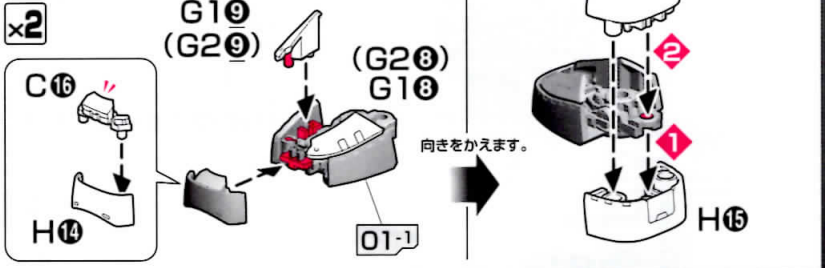
・リアリスティックデカール
・スプリング×2

01-1 [足首の組立] ANKLE UNIT

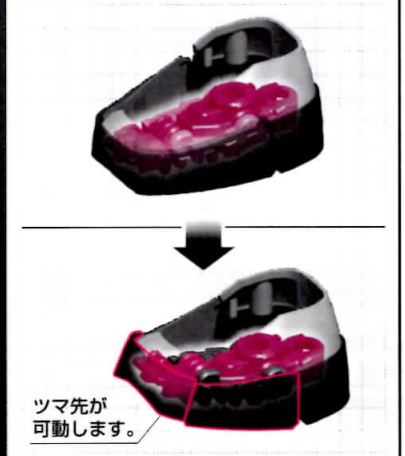
×2

01-2

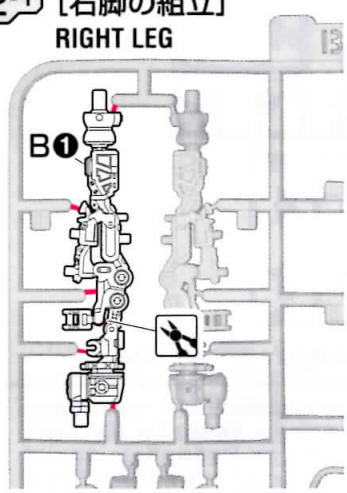
×2



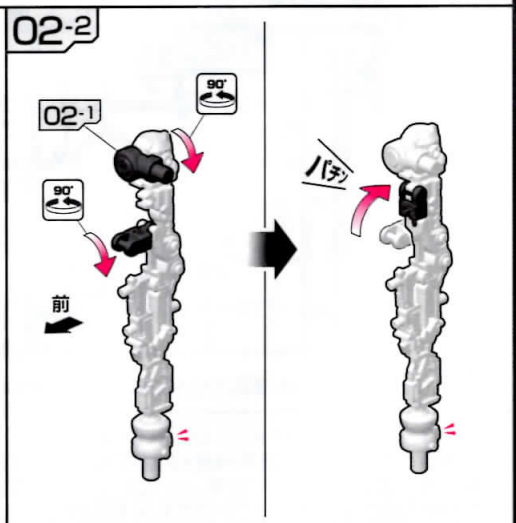
足首の可動



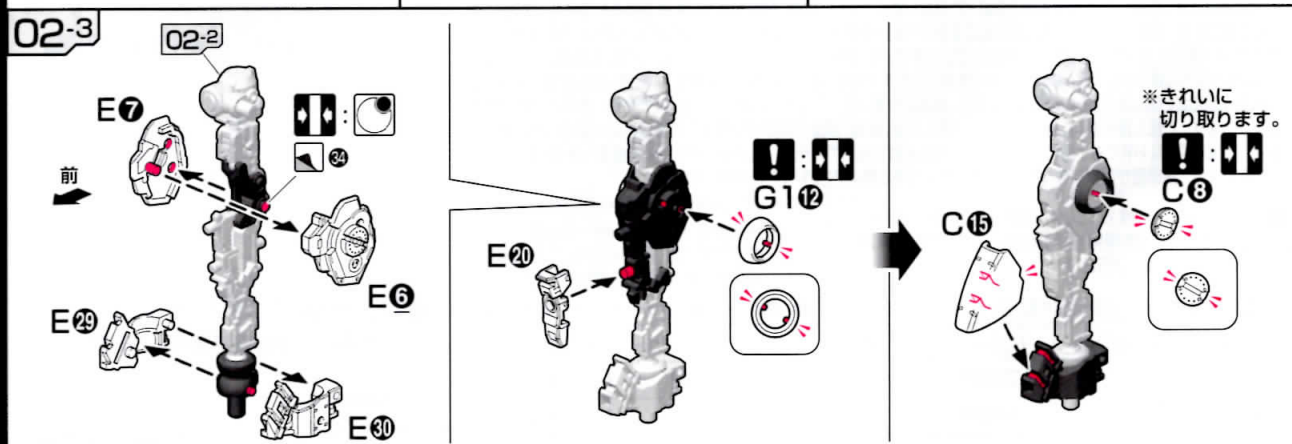
02-1 [右脚の組立] RIGHT LEG



02-2



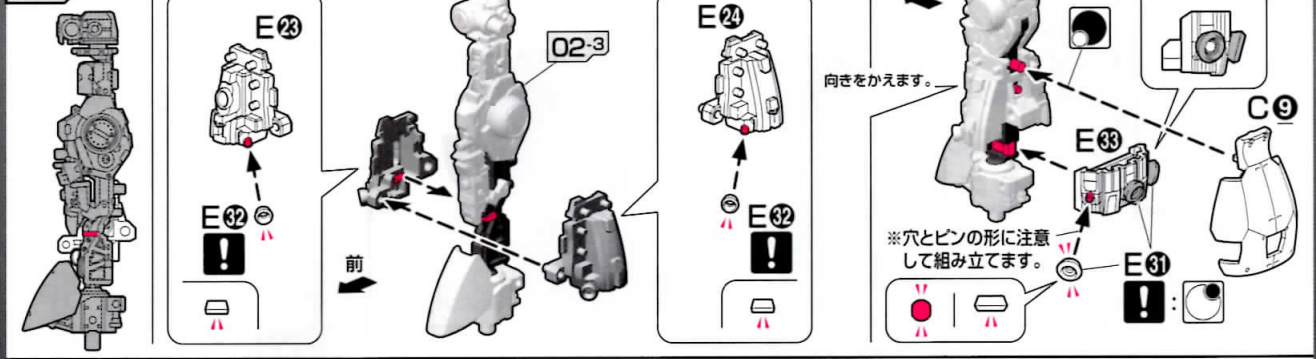
02-3



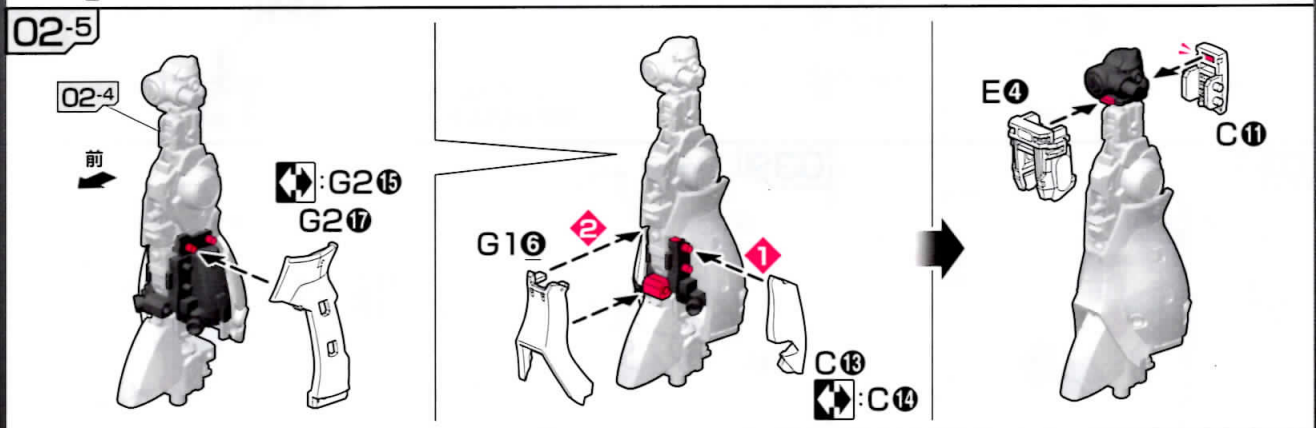
※組立図中の記号説明

!	向きに注意して組み立てる
×2	部品を数値の個数作ります
	両側に同じパーツを取りつける
	切り取る部分
90°	数値に合わせて回転させます。
	先に組み立てる
❶	シールの番号

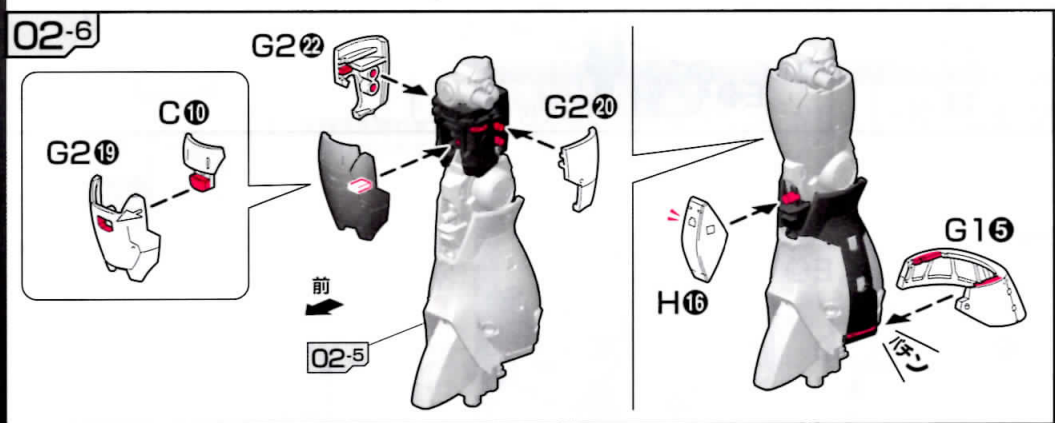
02-4



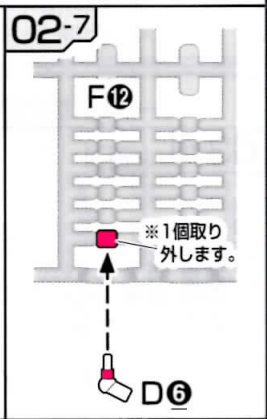
02-5



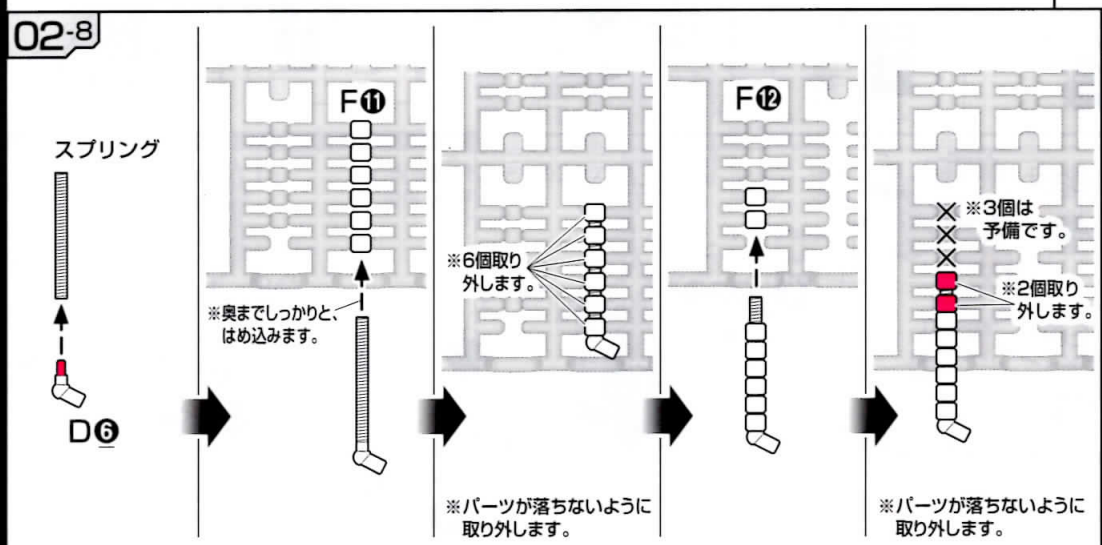
02-6



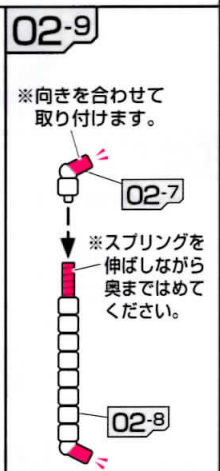
02-7



02-8



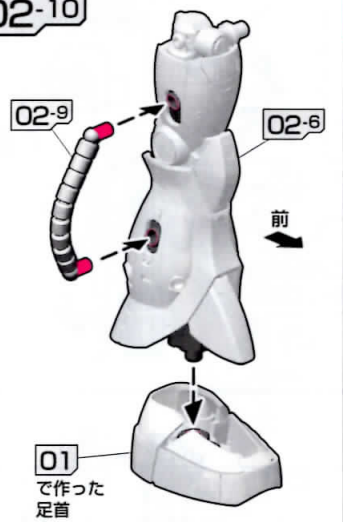
02-9



※組立図中の記号説明

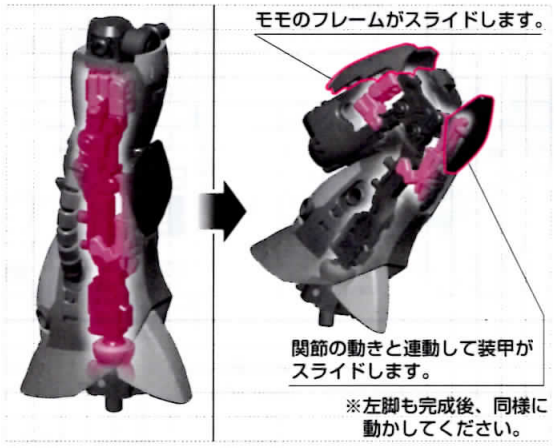
- ! 向きに注意して組み立てる
- 後から組み立てる
- 先に組み立てる
- 反対側に取り付けるパーツ

02-10

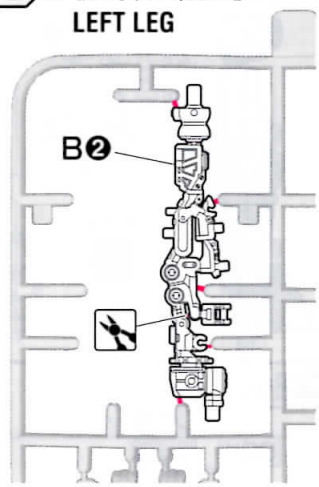


右脚の可動

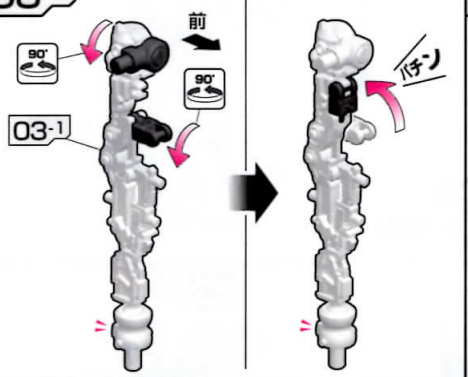
※可動させる際にはスライドする
装甲パーツを押さえないでください。
フレームが破損する恐れがあります。



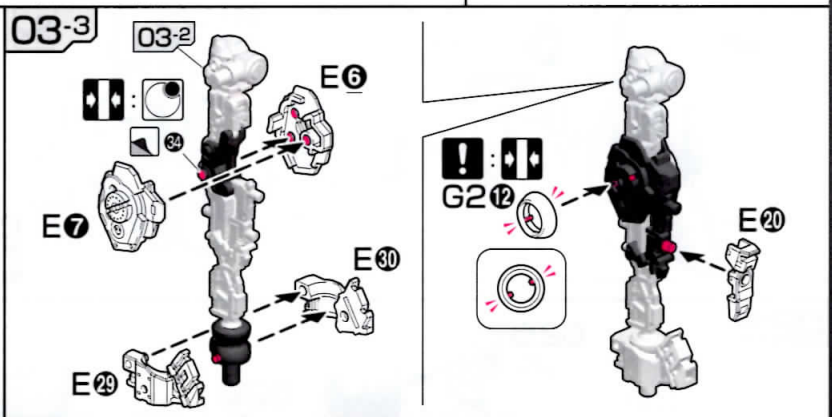
03-1 [左脚の組立] LEFT LEG



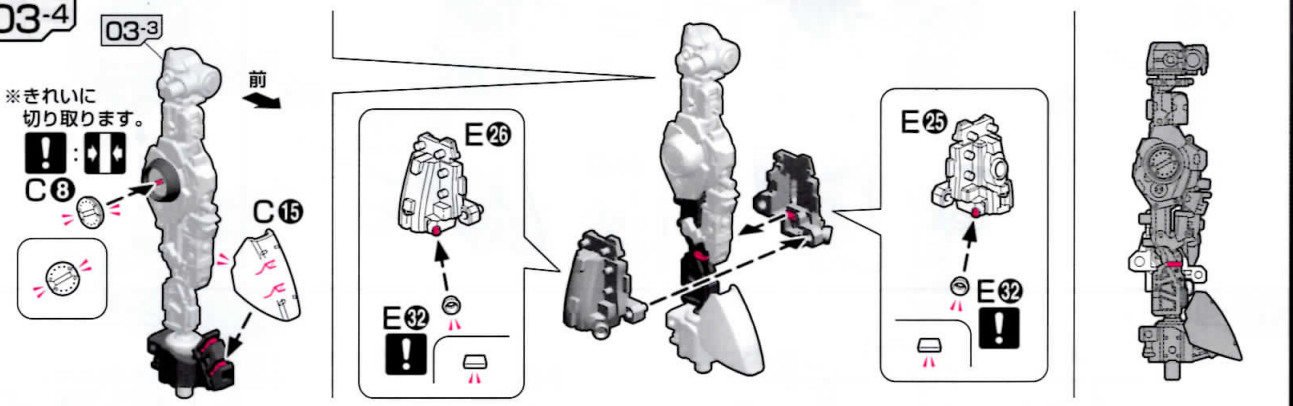
03-2



03-3



03-4

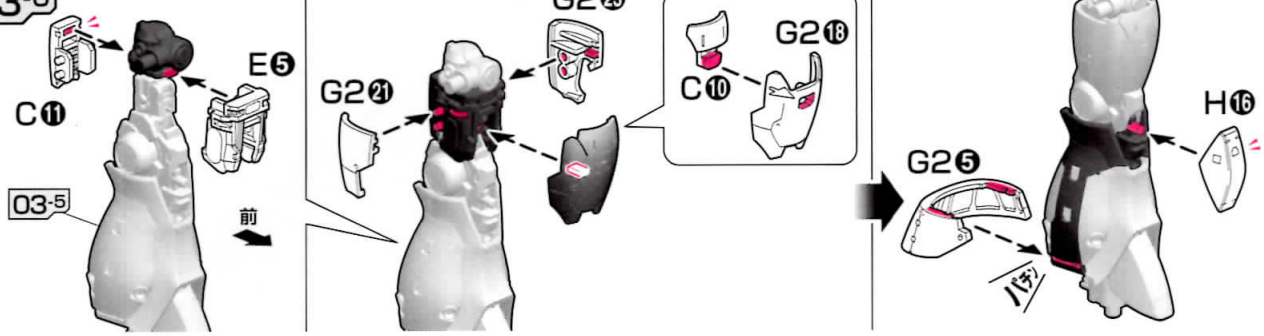


03-5

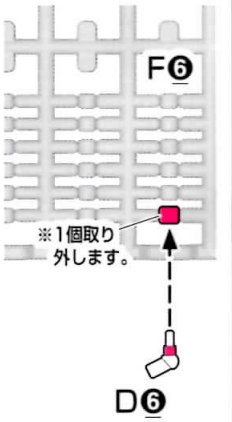
※組立図中の記号説明

- 90° 数値に合わせて回転させます。
- 切り取る部分
- 後から組み立てる
- 向きに注意して組み立てる
- 反対側に取り付けるパーツ
- 両側に同じパーツを取りつける
- 先に組み立てる
- ❶ シールの番号

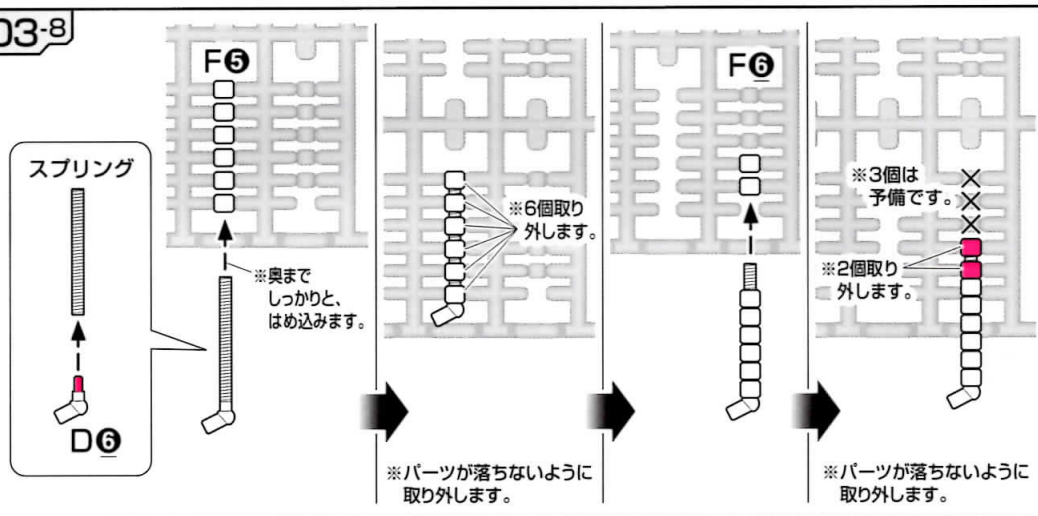
03-6



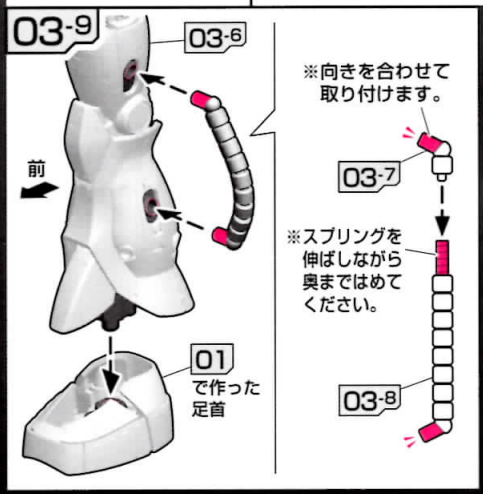
03-7



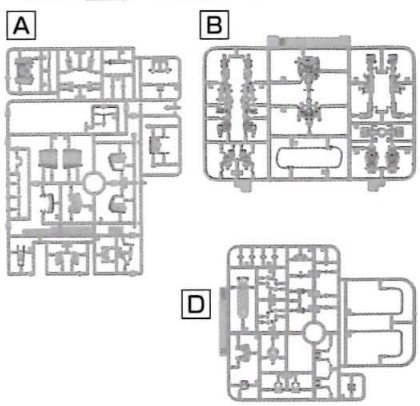
03-8



03-9

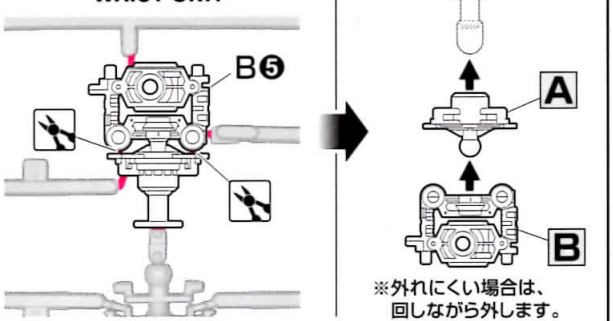


・組立 04 で使用するパーツ

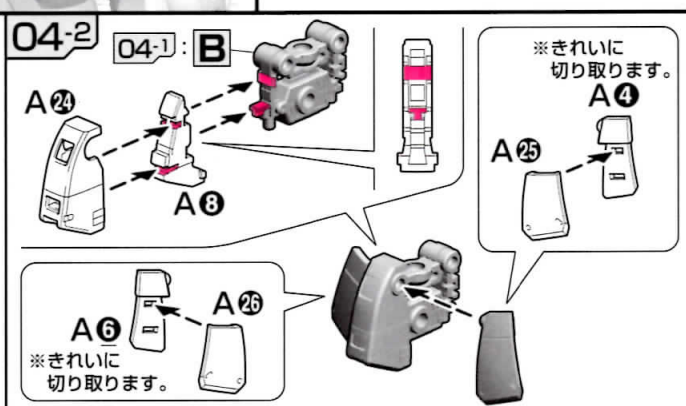


04-1 [腰部の組立]

WAIST UNIT



04-2



※組立図中の記号説明　切り取る部分

手の中に出現する“リアル”を楽しむ。

**ルウム戦役をはじめ、“シャア”と“シャアザク”が成し得てきた数々の栄光を実感するために。
そして永遠のライバル、“アムロ”と“ガンダム”との幾多の死闘を再現するために。
現時点で到達したひとつの回答が、この「RGシャア専用ザク」である。
豊富な可動ギミックや精密な外観描写、パネルラインのカラーリングが意味する設定背景を解読することで、
手の中に出現する“シャアザク”の、“本物”だけがもたらす圧倒的な存在感を堪能してほしい。**

MS-06S ZAKUⅡ

MS-06 ザクⅡは、一年戦争期に生産されたジオン公国製MSを象徴する機種である。中でも、大戦初期にエース専用機とされた06S型は、最多生産数を誇る06F型をベースとしつつ、俗に「三倍の速度」での機動が可能だとして名機の誉れ高い。MS-06F型の基本設計や生産ラインにほとんど手を加えることなく機能強化が施されたMS-06Sは、基本的に06Fの規格内におけるハイエンドバリエーションであった。操作性を優先したF型に比べ、多少扱い難い側面があるものの、機動性が大幅に向上したほか、重力下においても破格の走破性を発揮したと言われている。宇宙空間に於ける06S型は、高機動型の06R型に移行する寸前の機体であったとも言われている。むしろ、R型の開発を見越した上で、そのための部材が試験的に採用され、データ収集に供されていたとする説もある。MS-06Sは、06Fをベースとしつつ、工業製品としての“ザク”を、その規格内で限界までチューンナップしたもので、いわば市販車をレースカーに改造したようなものだと考えることができるのである。

ZAKU BAZOOKA
240mmの弾頭を射出する携行用のキャノン砲。開戦当初は核弾頭装備のものもあった。基本的に対艦用の兵装である。

ZAKU MACHINEGUN
一年戦争初期より多用されたMS用マシンガン。120mm実体弾を射出する。ドラムマガジンが特徴。

HEAT HAWK
近接戦闘用の斬撃装備。ブレード部分が赤熱化し、その高熱で敵の装甲などを溶断する。

シールド

F型が装備するものとほぼ同等品。側方からの被弾を防御する。複数の鋼材や緩衝材が積層してあり、消耗や損壊が前提の装備であるため、パーツ辺りの分割は本体の装甲に比べて大きめに設計されている。砲弾などの運動エネルギーを減免し、機体本体への影響を極力排除することが目的であるため、ある程度“壊れやすく”作られている部位もある。運用時にはユニットごと交換するケースがほとんどだが、前線では損耗した部位に応じてパーツ単位で使い回し、交換用の備品としてストックされていたと考えられる。

ヘッドユニット

F型をベースとして徹底的な機能向上をはかったS型は、通信機能の強化などを目的として頭部にブレードアンテナが追加装備されている。そのため部隊長が乗る場合が多く、S型を指して指揮官タイプと呼ばれることもある。ザクの頭部はモノアイやセンサー類の塊であり、電子的にも物理的にもデリケートな部位である。通信機能や電子回路にはミノフスキー粒子による干渉を防ぐため徹底的な防護を施しつつ、光学的には感度の高い素子が集積しており、頻繁なメンテナンスが必要であるため、アクセスハッチやモニタリング用のポートが各所に設置されている。

ショルダースパイクアーマー

ザクが開発された時期、対MS戦闘のノウハウは集積の途上にあり、関節部の防御装備の試案として採用された。シールドはあくまで防御専用の装備だが、敵MSとの格闘戦や戦闘機とのドッグファイトの際、MSの質量自体を武器とする“攻性”の装備として考案され、すでにMS-05によるシミュレーションや模擬戦闘でも有効性が確認されていた。06のものは、さらに敵機への与奪ダメージを大きくすべくスパイクを装備している（シールドとのカウンターウェイトとしての意味もある）。

アームユニット

武装及び戦闘スタイルの選択肢を無限に広げるプラットホームとしてのみならず、AMBAC（質量移動による姿勢制御）機動装備として、さらには高精度の土木、工作機器としての機能をMSに与えるユニットである。特にマニピュレーターはパーツ数も多く、損耗率は非常に高かった。そのため、整備性の確保が必須の部位であり、パーツの共有化も徹底されていた。ジオン公国軍のMSは、動力伝達システムとして“流体内パルスシステム”を採用している。これは、ジェネレータから発生するパルスをチューブによって可動部に導くというもので、高レスポンス、高トルクかつ軽量という非常に優れたシステムであった。

ボディユニット

S型は、背部や脚部のバーニアスラスターなどに新設計のユニットが多く採用されており、必要とされるプロペラントも増加している。その空間を確保するため、大腿部の形状変更のほか、各種の自動制御用のパーツなどが削減されている。無論、それに代わる装置に置換されているため稼働に支障はなく、逆に、熟練パイロットには不要な多くのリミッターをオフラインにする事ができた。極端に言えば、機体の構造限界まで機能させることができるようになったわけで、充分な技能を持つパイロットからは高い評価を得ていた。インターフェイスやドライバソフトなども、微調整が可能なよう更新されている。

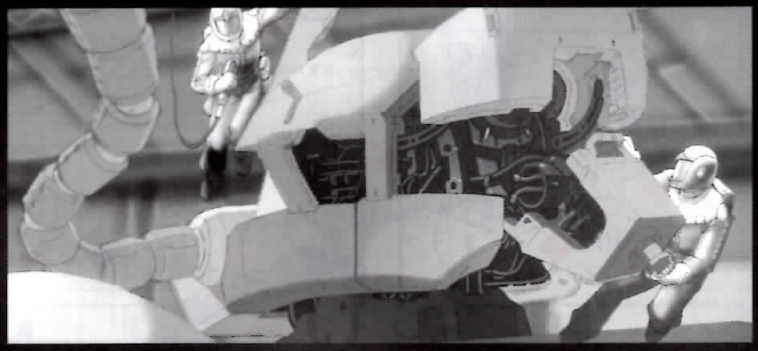
レッグユニット

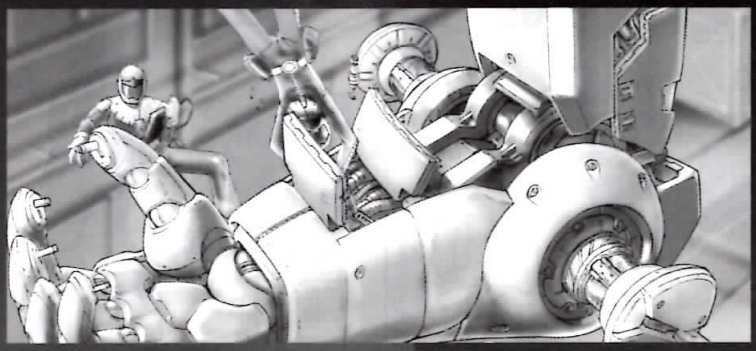
アームユニットと同じく、ユニットのほとんどはF型と同じ部材で構成されているが、最終装甲や可動部の構成などは、生産時期に応じた新規部品などを取り込むことで暫時改装されている。また、バックパックと同様、バーニアスラスターは基部ごと更に高出力なものと換装されており、大腿部のプロペラントタンクの大容量化とともに、ユニット全体の軽量化なども施されている。特にドライバソフトには、脚部自体をひとつのスラスターユニットとして機動に用いるというアプリケーションが追加されており、相性にもよるが、高い技能を持つパイロットには概ね好評であったようだ。

MODEL NUMBER/MS-06S
HEIGHT/17.5m WEIGHT/56.2t
FULL WEIGHT/74.5t
GENERATOR OUTPUT/976kW
ARMOR MATERIALS/SUPER HARD STEEL ALLOY

MS本体のカラーリングは、最終的には塗装が施されるため、いわゆる"ボディカラー"はある程度任意に変更できる。逆に言えば、いかに遮蔽性の高い塗料であっても、部位による構造や表面処理などの違いによって、色合いが異なることになる。つまり、装甲の金属素材の相違により色彩には異同が生じるのである。実際には、量産機ともなれば、同一の工廠施設であっても、組み立てに至るまで別のラインで製造されることが多いので、ロールアウト直後であればこそ、パーツごとに色合いが異なると考える方が合理的である。特にMSは可動部が厖大な数に上る戦闘兵器であり、機体全体の均一な塗装こそ至難の業と言えよう。

一般に可動部分は内部構造が露出しやすく、防御面では大きな不安が生じる。そのため最終装甲は、内部機構の露出面積を可能な限り削減するよう配置される。また、バーニアスラスターの燃焼機関部は特に高い防御能力が求められるため、高い金属強度を保つ装甲を配置する必要があり、なおかつその周辺には、絶対零度から数千度にいたる温度変化や破損、改修に伴う高い整備性も要求されていくのである。

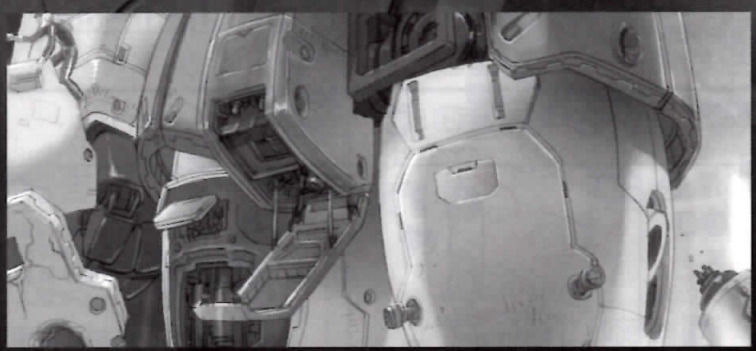




MS-06S、いわゆる"シャアザク"を例とすると、その装甲各部には、F型の装甲と比較して、化学的により密度の高い金属素材が開発、使用されているといわれている。軽量化と堅牢さは相関関係にあり、同一の原材料であれば、一般的に薄く軽くなると強度は低下する。逆に、素材強度が向上すれば、薄く軽くできるのである。ザクの装甲には、ガンダムが採用していた"ルナチタニウム"のように、軽さと硬さをあわせ持つ破格の新素材は採用されておらず、単純に"超硬スチール系合金"の硬度のみを向上させた部材が採用されていたとされる。生産拠点によっては"超高張力鋼"系の装甲を採用していた機体もあったと言われている。金属素材は、基本的に"硬度"が高くなれば"脆く"なる。いわゆる展性(粘り強さ)が低下するのである。そこで、形状を変えたり別の素材と重ねたり組み合わせたりする必要が生じる。通常のF型ザクとシャアザクの装甲の違いはそのようなもので、極論すればパッチワークの組み合わせの違いに過ぎない。しかも、機動性を損なわないからといって、その新素材が機体全体に使われることもなかったため、機体色はF型に準じたパネルラインの部位によって異なるカラーリングとなって現れるのみであったようだ。

頭部ユニットは、基本的にモノアイや通信回路などのチェックに必要なアクセスパネルによって構成されており、コンピュータフレームの冷却機能やモノアイの光学装備は出撃するごとにチェックされる。特に06S=シャアザクのアクセスパネルは、強化された通信用の専用回路が組み込まれていたため、頻繁に開閉されていたようだ。

胸部はメインジェネレータ及びコクピットを含む制御機器の集積体であり、熱核融合炉の稼働状態や機体レスポンスのチェック用のアクセスパネルはもちろん、監視プログラムが常に走っている。全身をくまなくチェックするオーバーホールは専用の設備がある場合に限られ、定期メンテナンスはかなり大掛かりなものとなる。特に06Sタイプは、06Rタイプほどではないものの、オーバーヒートを起こす機体も多かったとされるが、パイロットの練度ゆえか、シャアザクはほとんど通常メンテナンスで済んでいたと言われている。

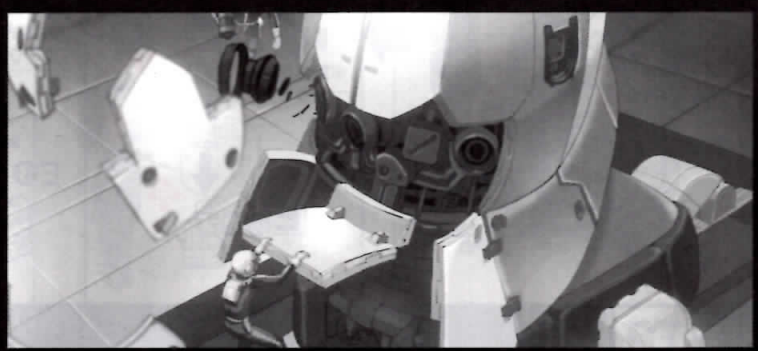


腰部はザクのみならず、ほぼ全てのMSにおいて最も負荷のかかる部位であり、特に重力下では常に上半身の質量を支えるため、構造疲労が進みやすいウィークポイントであった。そのため、関節の構造や動力系のアクセスパネルは複数の箇所に設けられており、致命的な破断や機能障害などの兆候がないか最優先でチェックされていた。特に股関節の脱着機構は高度にシステム化されており、スカートアーマーを含む"腰回り"は、最前線の最低限の設備でも確実な整備、換装が可能であった。

大腿部はシャアザク=06Sと通常のF型との差異が盛り込まれたユニットである。プロペラントタンクの増量に伴い、内部容積を増やすため外径が異なっているのである。ただし、F型の基礎フレーム自体は変更されておらず、動力パイプのターミナルや装甲厚の削減、タンク形状の調整などによって、可動に支障がない程度の変更に止まっている。

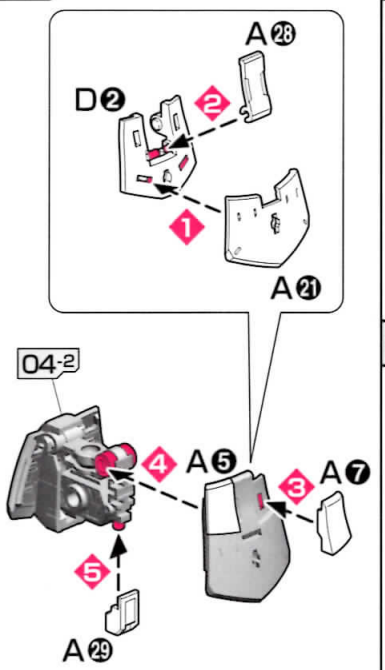
下脚部は、特に重力下において酷使される部位であり、ザクの移動能力のほぼすべてを賄う最重要ユニットである。また、F型よりも推力の高いスラスターユニットを装備していたため、特にバーニア周りの装甲が強化されている。無論、その機関部周辺の装甲は更に強化され、足部は消耗の激しい部位であるため、換装や整備のためのハッチやパネル、装甲の形状などが配慮されている。特に重力下では土壌や植物などの塵埃が侵入することも多く、それらを除去するためのハッチのみならず、装甲の取り外し自体が簡便に行えるようなパーツ構成となっている。

バックパックは、基本的に06系に共通の仕様となっており、主にラジエーターの換装が前提として盛り込まれているため、F型との形状的な差異はほとんど見られない。ただし、冷却システムや燃焼ユニットは、大型のバーニアスラスターに対応した仕様のものと換装されていることは言うまでもない。

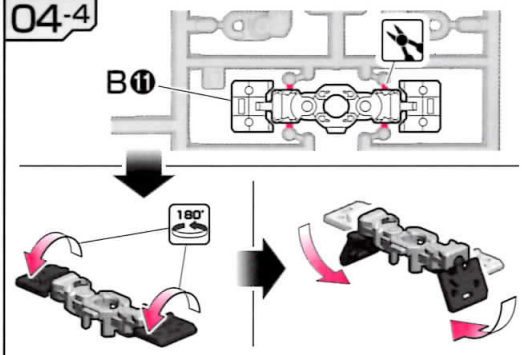


※イラストはイメージです。 Illustrated by ARMIK

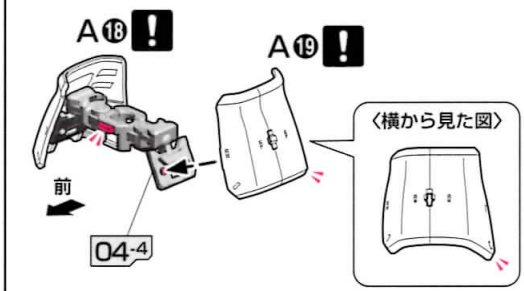
04-3



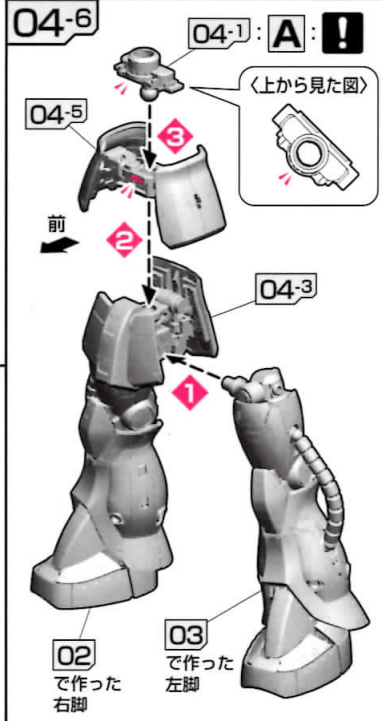
04-4



04-5

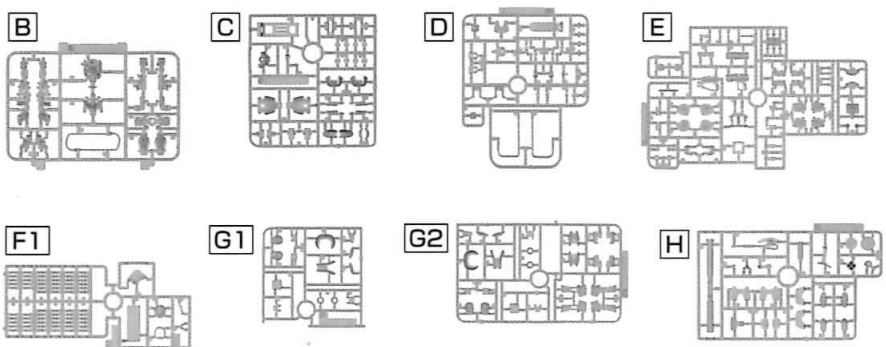


04-6

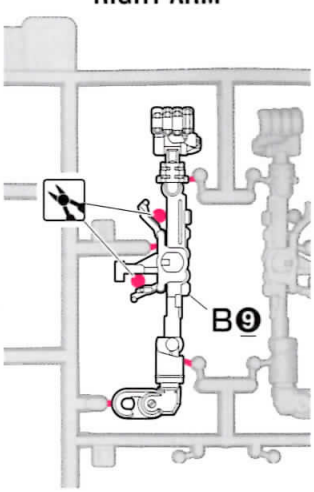


ARM UNIT

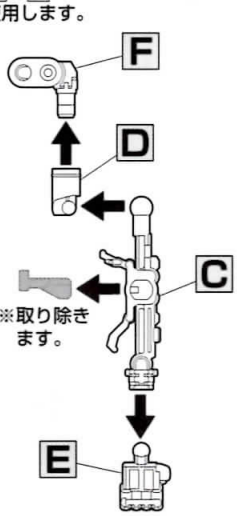
・組立 05・06 で使用するパーツ



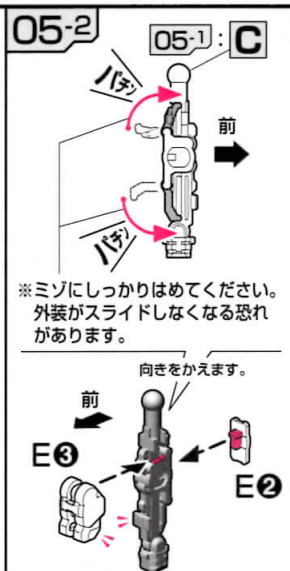
05-1 [右腕の組立] RIGHT ARM



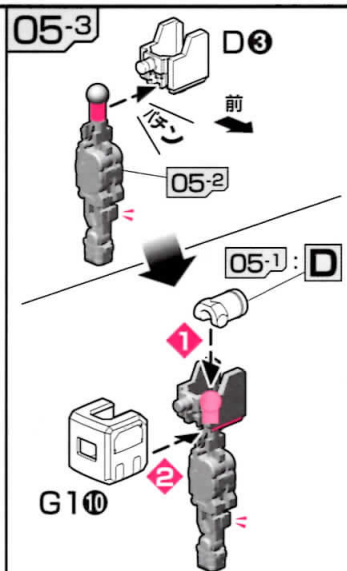
※C～Fはそれぞれの工程で使用します。



05-2



05-3



※組立図中の記号説明

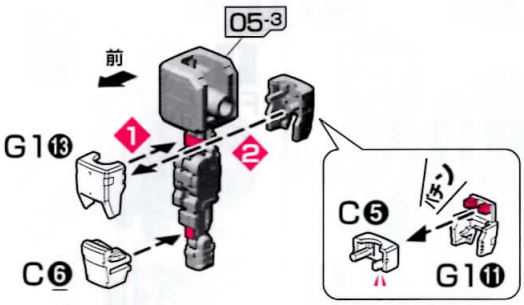
180° 数値に合わせて回転させます。

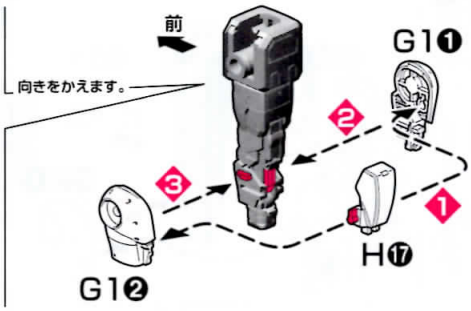
切り取る部分

! 向きに注意して組み立てる

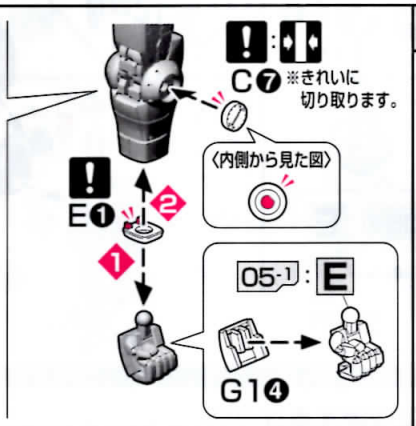
05-4

05-3

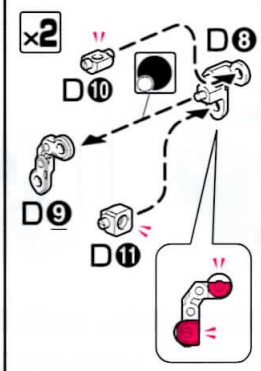




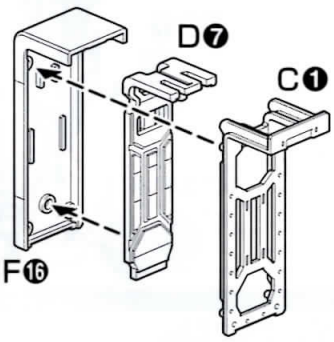
05-5



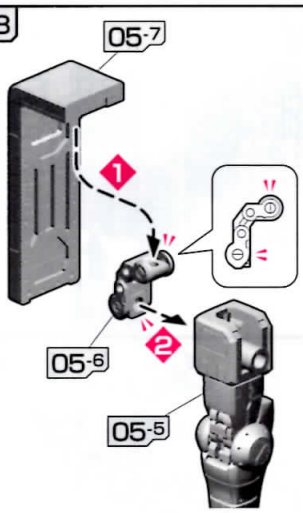
05-6



05-7

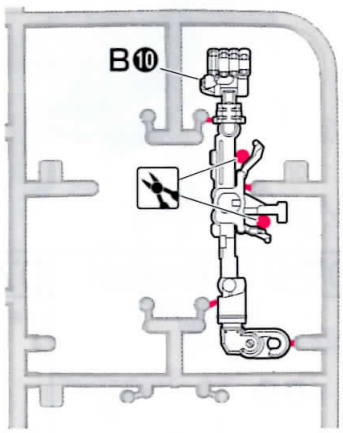


05-8

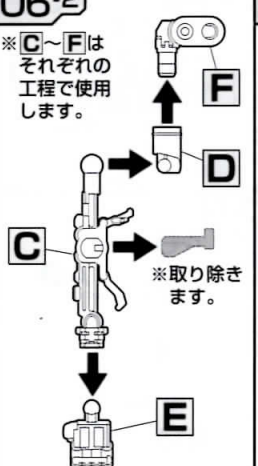


右腕の可動

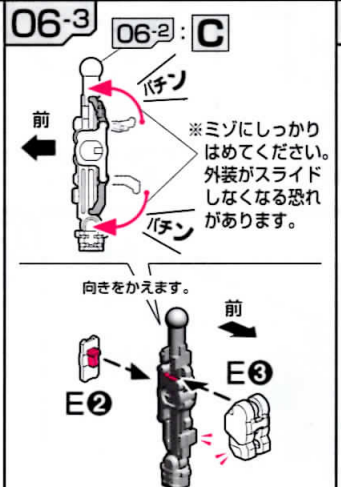
06-1 [左腕の組立] LEFT ARM



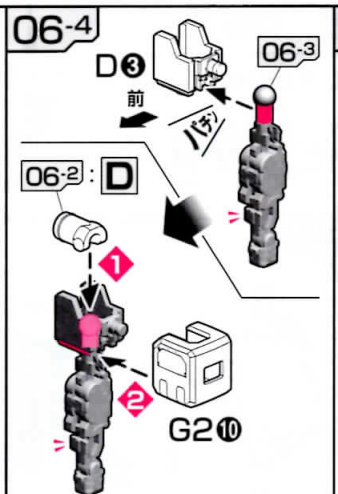
06-2



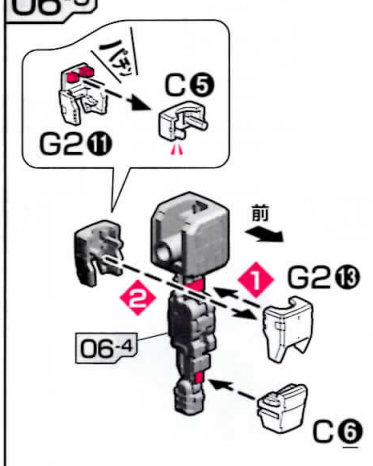
06-3



06-4



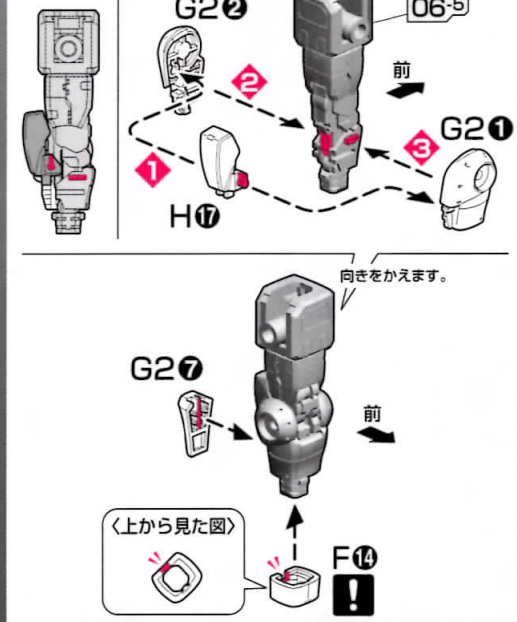
06-5



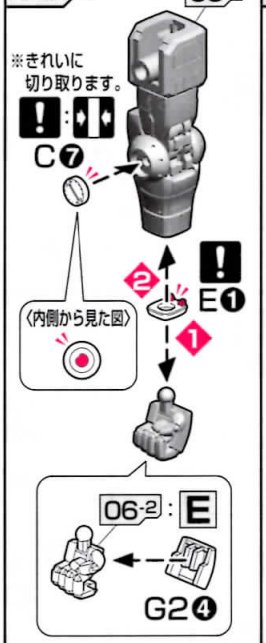
※組立図中の記号説明

- ! 向きに注意して組み立てる
- 両側に同じパーツを取りつける
- 後から組み立てる
- ×2 部品を数値の個数作ります
- 切り取る部分

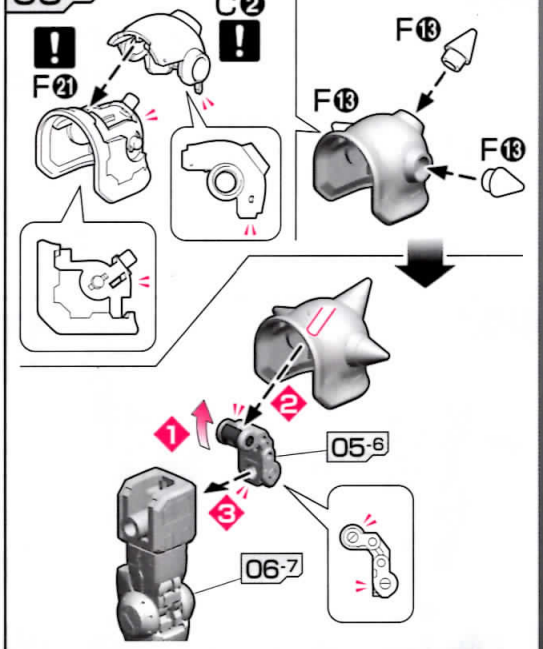
06-6



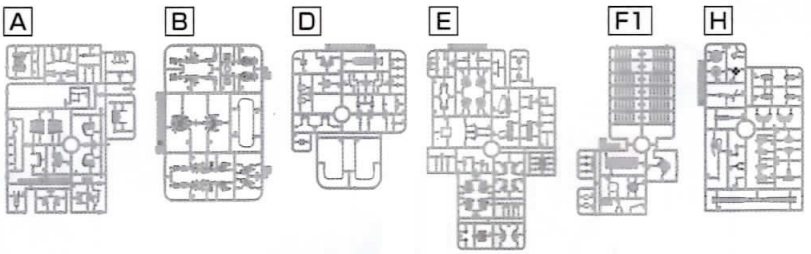
06-7



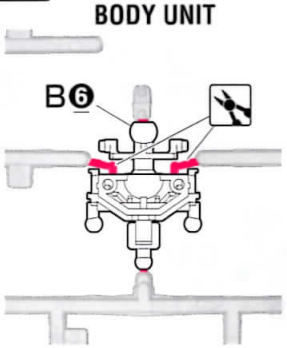
06-8



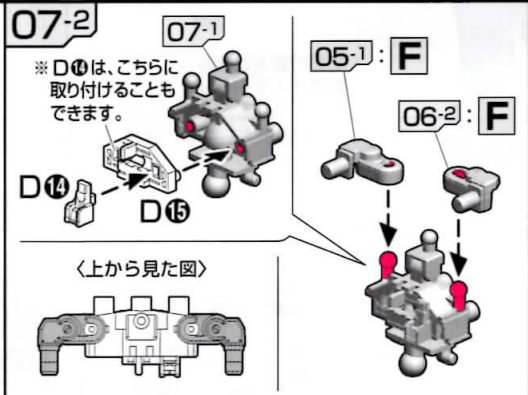
・組立 07 で使用するパーツ



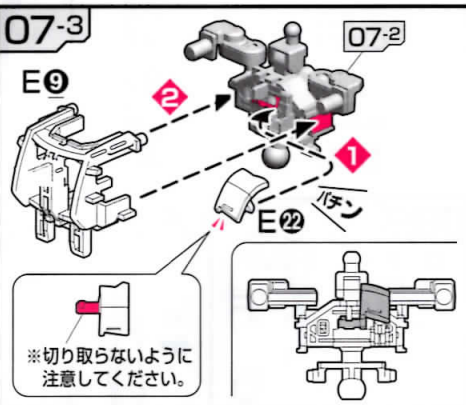
07-1 [胸部の組立]
BODY UNIT



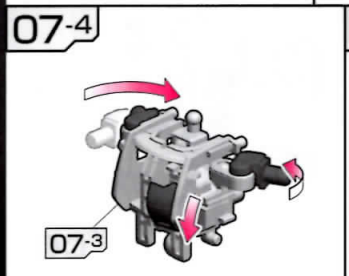
07-2



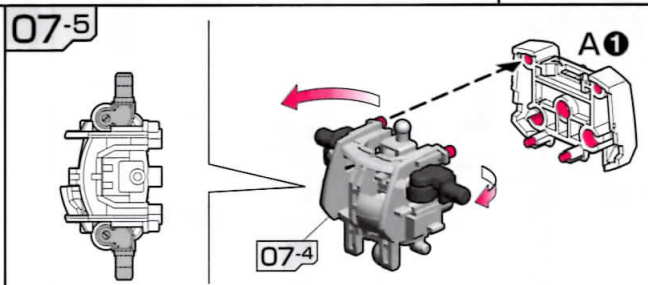
07-3



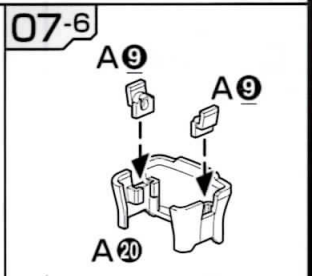
07-4



07-5



07-6

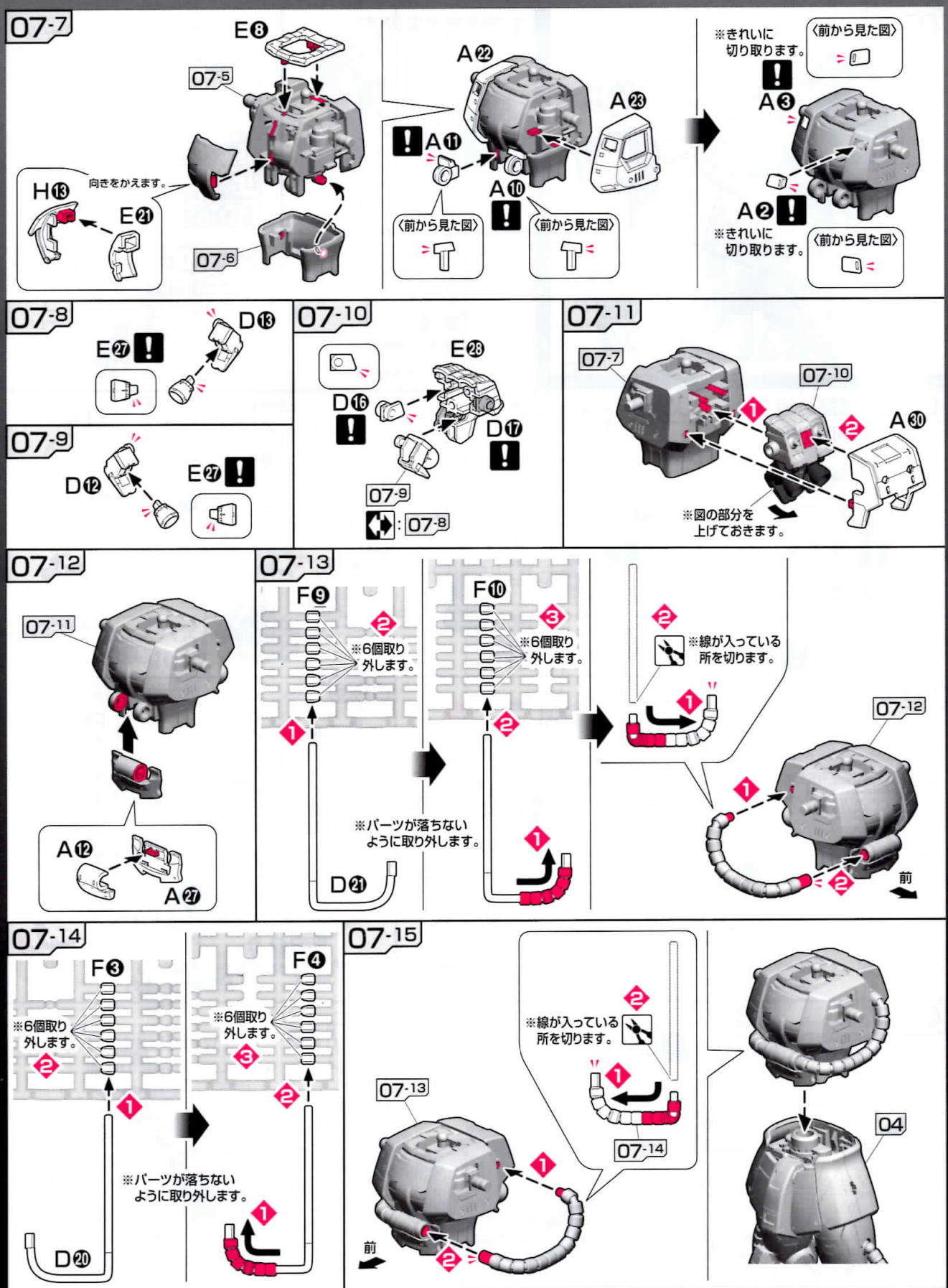


※組立図中の記号説明

! 向きに注意して組み立てる

両側に同じパーツを取りつける

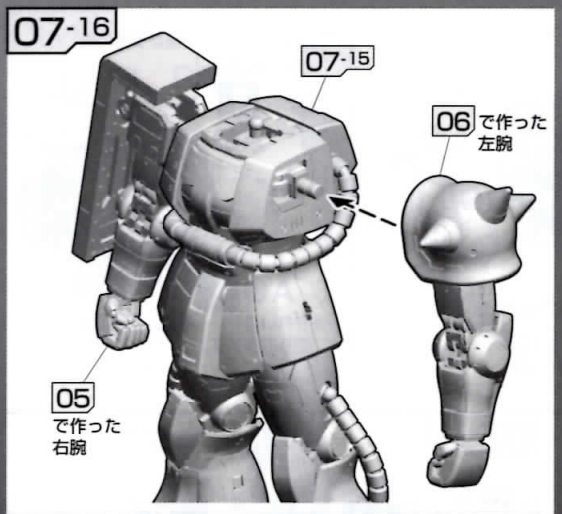
切り取る部分



※組立図中の記号説明

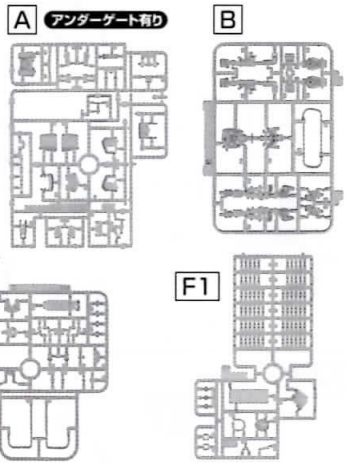
- ! 向きに注意して組み立てる
- 反対側に取り付けるパーツ
- 切り取る部分

07-16



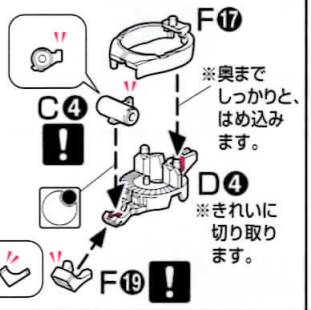
HEAD UNIT

・組立 08 で使用するパーツ

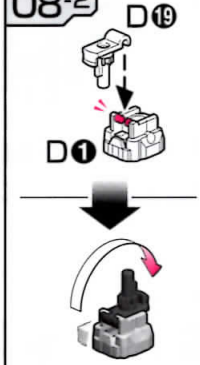


・リアリスティックデカール

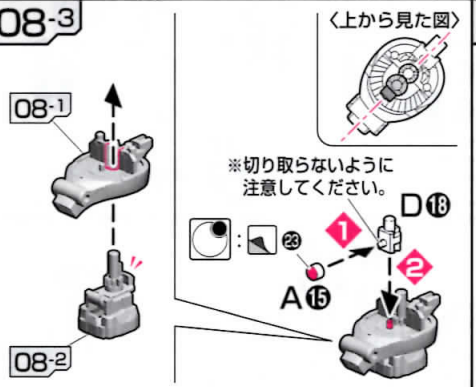
08-1 [頭部の組立]
HEAD UNIT



08-2

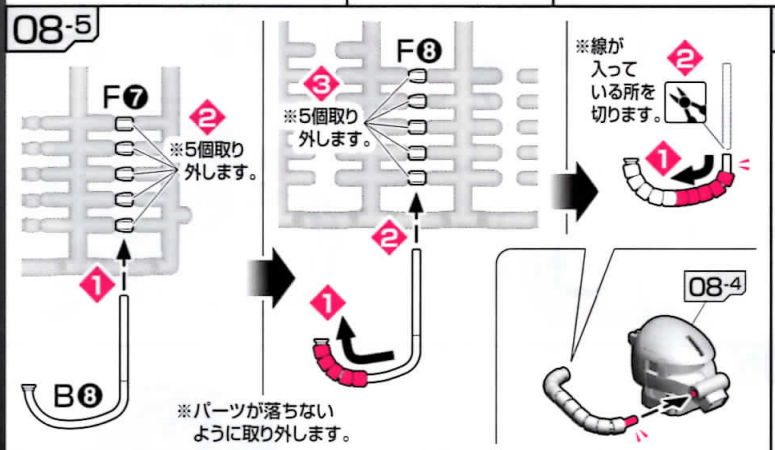


08-3

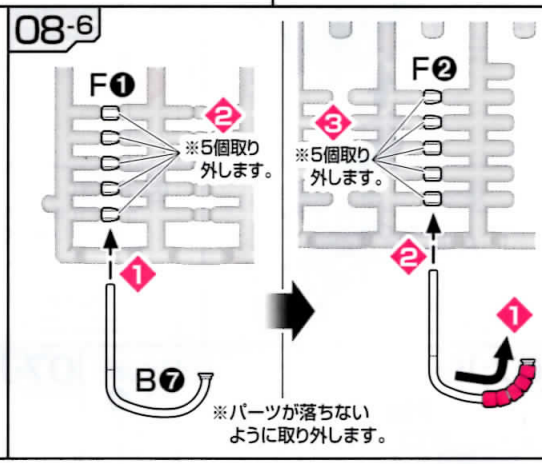


08-4

08-5

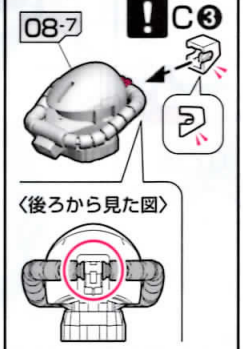


08-6

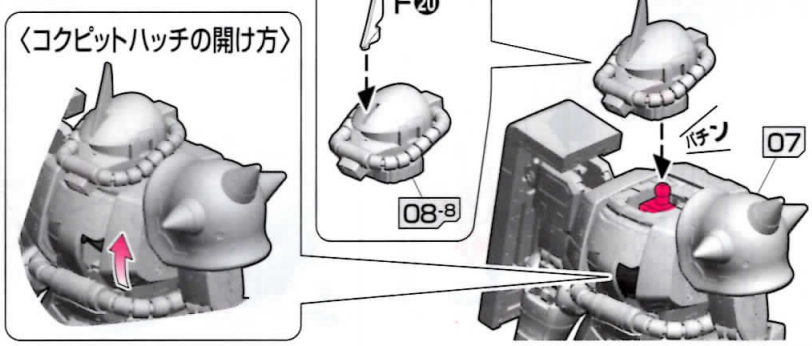


08-7

08-8



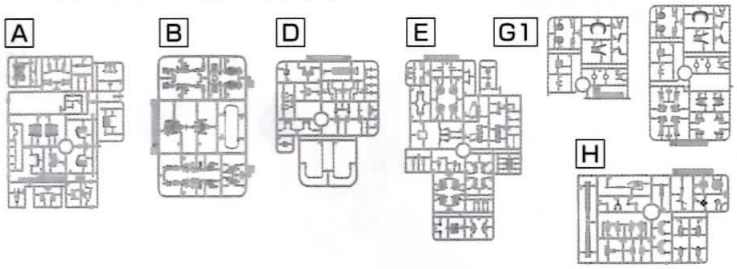
08-9



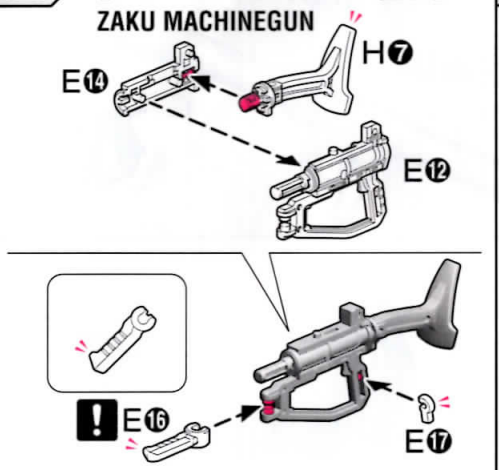
※組立図中の記号説明
! 向きに注意して組み立てる
❶ シールの番号
先に組み立てる
切り取る部分

WEAPONS

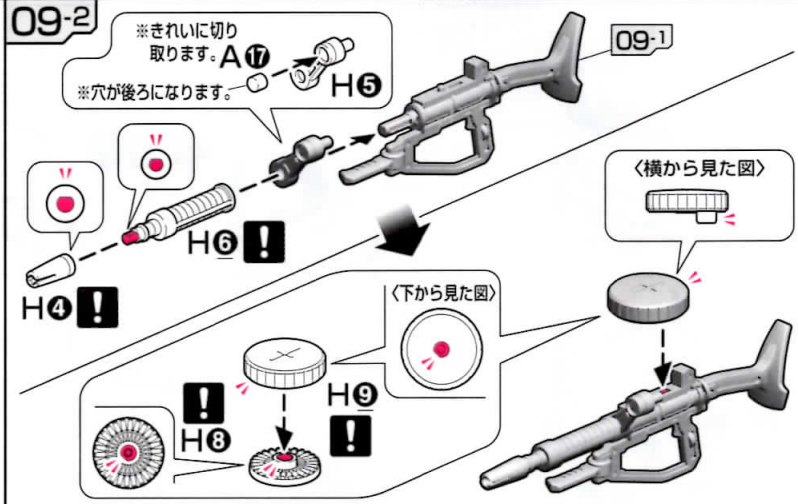
・組立 09・10・11・12・13 で使用するパーツ



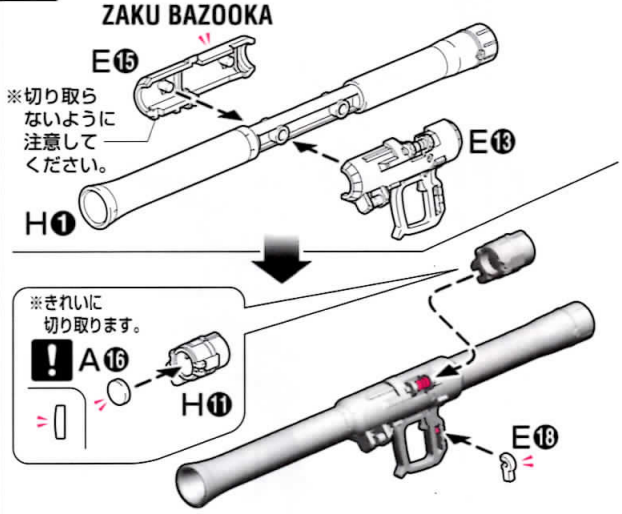
09-1 [ザク・マシンガンの組立]
ZAKU MACHINEGUN



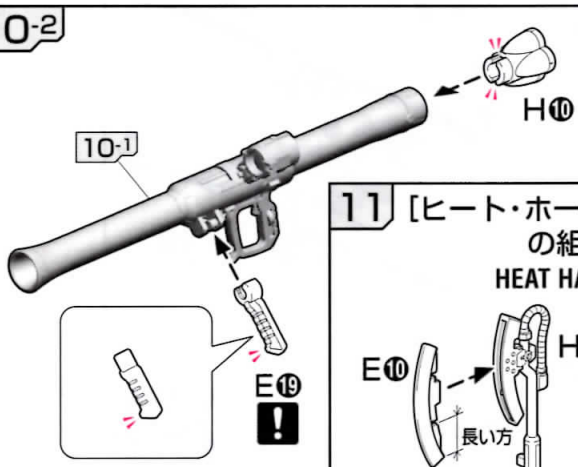
09-2



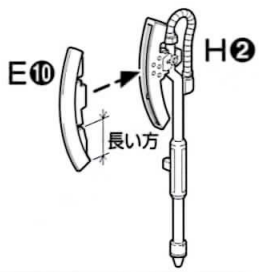
10-1 [ザク・バズーカの組立]
ZAKU BAZOOKA



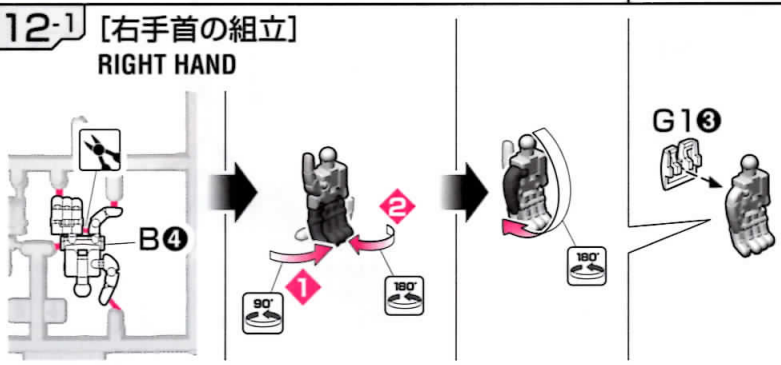
10-2



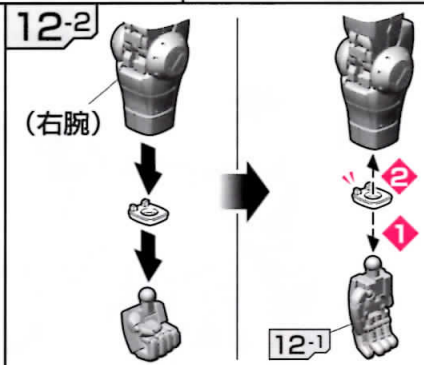
11 [ヒート・ホークの組立]
HEAT HAWK



12-1 [右手首の組立]
RIGHT HAND



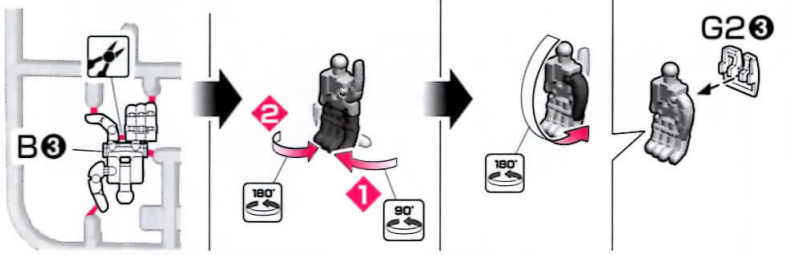
12-2



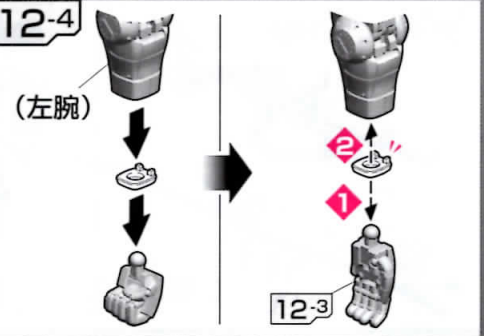
※組立図中の記号説明

- ! 向きに注意して組み立てる
- 切り取る部分
- 90° 数値に合わせて回転させます。

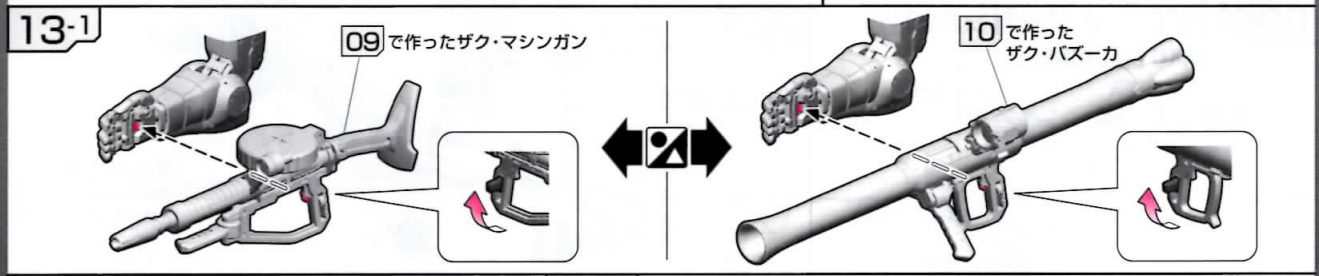
12-3 [左手首の組立] LEFT HAND



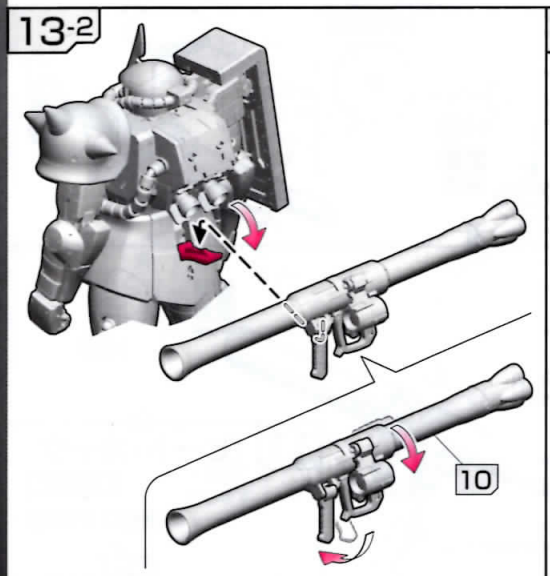
12-4



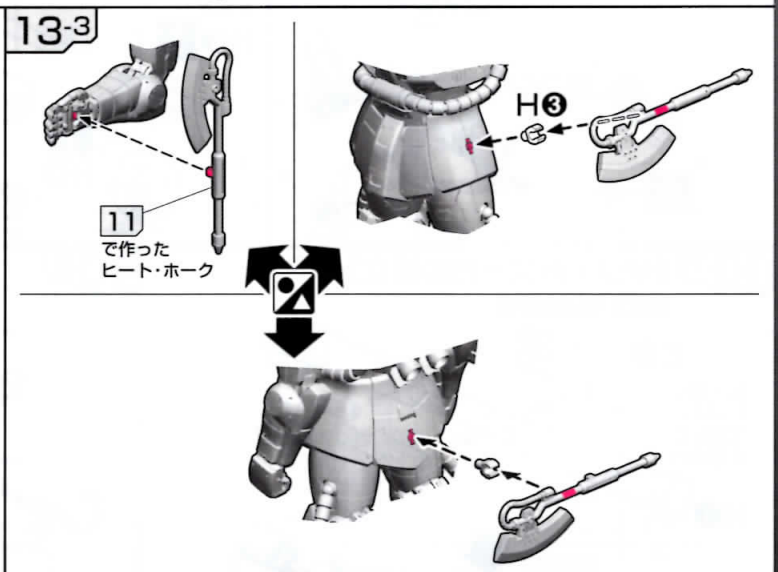
13-1



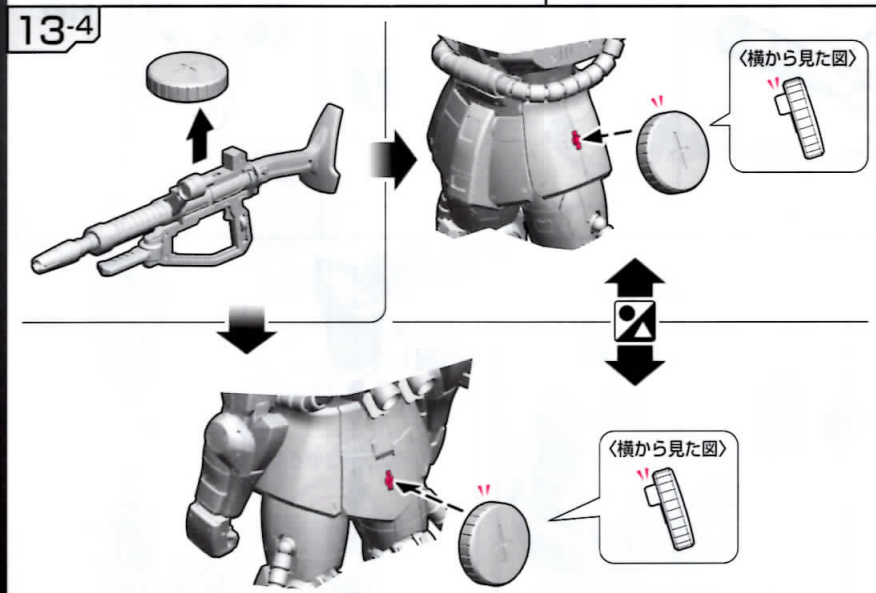
13-2



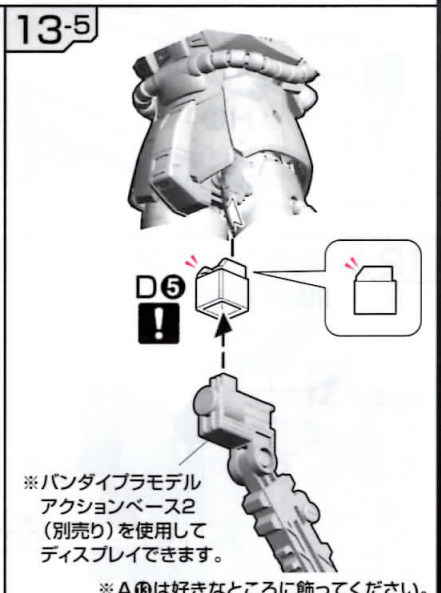
13-3



13-4



13-5



※バンダイプラモデル アクションベース2 (別売り)を使用して ディスプレイできます。

※A⑱は好きなところに飾ってください。

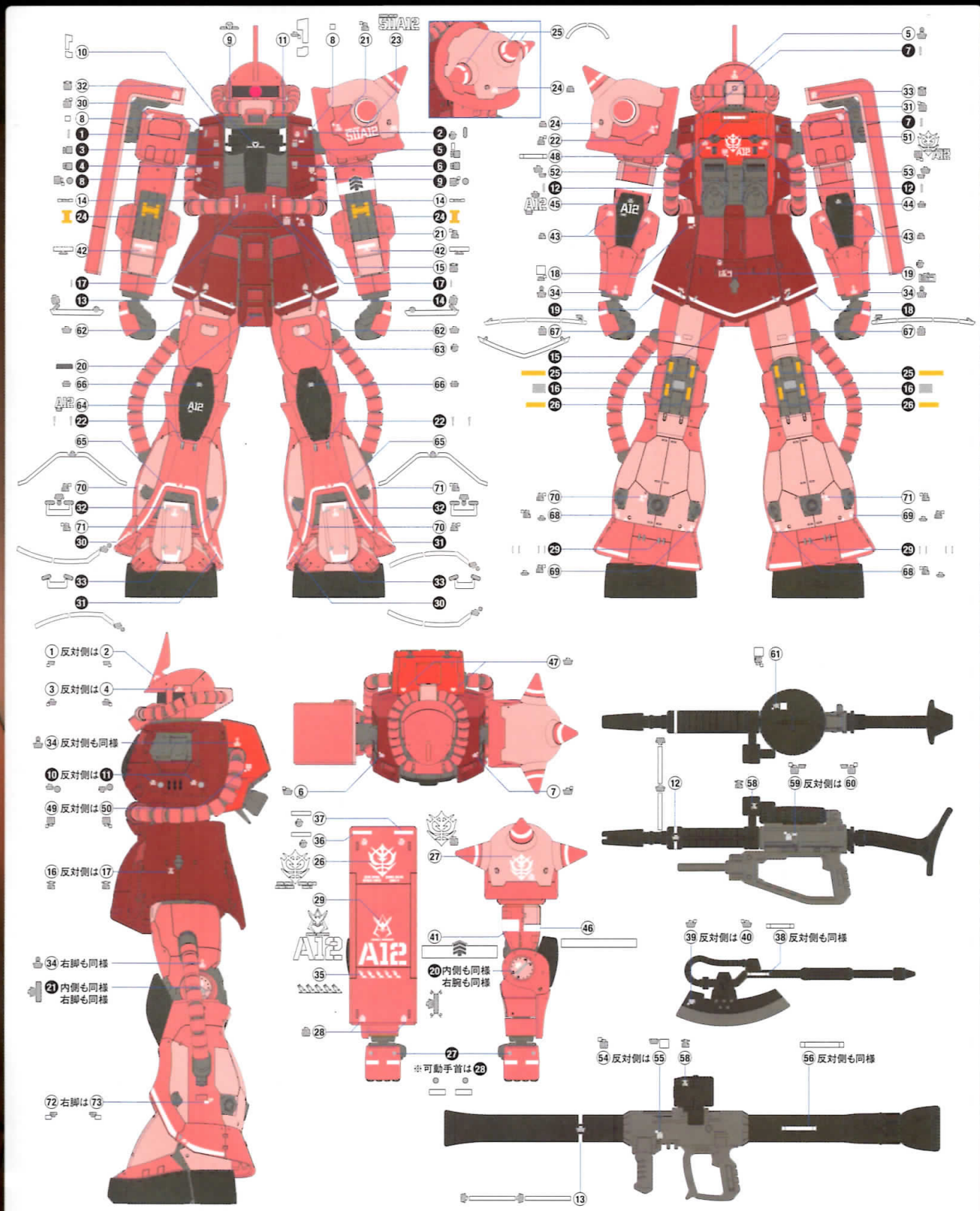
※組立図中の記号説明

- ! 向きに注意して組み立てる
- 切り取る部分
- 90° 数値に合わせて回転させます。
- どちらかを選んで取りつける

REALISTIC DECAL

下の図を見てマーキングの貼る位置を確認してください。

※マーキングシールを貼る位置を数字で表記してあります。
※黒丸白文字の部分は金属の輝きを表現したシールです。このシールを貼るだけで、メカニカルな質感を楽しめます。
※余ったマーキングは好きな所に貼ってください。

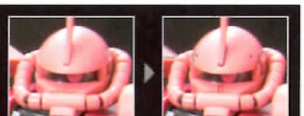


「リアリスティックデカール」

※このデカールはプラモデルオリジナルのものです。
※貼り指示は一例ですので、
イメージに合わせてお貼りください。
※シールを貼る際にはピンセット等の使用をお勧めします。

ONE POINT ADVICE

スミ入れ
ガンダムマーカースミ入れ用(別売り)等を使用して、キットのスジ彫りをなぞることで、ディテールが引き締まります。



RGのロゴマークに刻まれた
EXCITEMENT EMBODIEDという言葉には、
-このキットには興奮がこめられている-
という意味があります。